

病 院 年 報

第 1 号

令和 2 年度 (2020 年度)



目 次

大阪中央病院 2020 年度年報の発刊にあたって	1
伯鳳会グループ理念	2
概要	3
基本診療料施設基準届出状況 特掲診療料施設基準届出状況	4
職員構成	5
組織図	6
各種委員会	7
各部門の活動	
内科	8
消化器内科	10
循環器内科	12
外科	15
整形外科	25
皮膚・形成外科	28
泌尿器科	30
婦人科	32
眼科	38
耳鼻咽喉科	40
放射線科	41
麻酔科	43
リハビリテーション科	44
薬剤部	45
中央検査部	46
臨床工学部	47
栄養部	49
看護局	50
健康管理センター	52
医事課	56

大阪中央病院 2020 年度

年報の発刊にあたって



院長 根津 理一郎

1944年に開設され、77年の歴史を有する大阪中央病院は、2020年7月より伯鳳会グループに加入することになり、早や1年が経過いたしました。2020年は世界を巻き込んだ未曾有のパンデミック、新型コロナウイルス感染拡大に振り回された年でしたが、伯鳳会古城理事長のリーダーシップと職員の皆様の献身的な努力により大過なく、クラスター発生もなく無事に1周年を迎えることができました。

本誌は各診療科、各部門からの1年間の活動報告、新しい取り組み、今後の目標などを集積し、これらを職員全員で共有することを目的として年に1度、刊行される予定であり、今回は伯鳳会グループに加入して最初の記念すべき号となりました。この1年間の活動成績は、これまでの通常の1年間の業績と単純に比較できるものではありませんが、コロナをきっかけに今後の医療需要の動向は大きく変化することが想定されます。われわれ医療者は常にこれらを注視し、データを基に診療体制を構築していく必要があります。また同時に自身の治療成績をまとめ、学術活動を通じて第三者の批判を受け、成績向上につなげることも求められると思います。

本誌を手にしていただいた皆さまには、お時間の許すときにご高覧いただき、ご批判、ご意見をいただければ幸いです。

伯鳳会グループ理念

『平等医療・平等介護』

- 1、我々は健康サービスの水準を高く保ち、いつも最新の健康サービスが提供できるように研鑽し、最良の設備、環境を整えます。
- 2、我々はお客様に愛情と尊敬を持って接し、お客様にとって何が最良かを一緒に考え実践します。
- 3、我々は地域社会に安心を提供し、いつも親近感のわく、あたたかい健康サービスを行います。
- 4、我々は他の健康サービスを行う方々と連携し、地域の方々の健康と生活を守ります。
- 5、我々は健康サービスを通じて自己実現を図り、もって多大なる社会貢献を果たすと共に、自らも幸福となります。

概 要

(1)	名 称	医療法人伯鳳会 大阪中央病院
(2)	所 在 地	大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 30 号
(3)	開 設 者	医療法人伯鳳会 理事長 古城 資久
(4)	管 理 者	病院長 根津 理一郎
(5)	開 設 年 月 日	令和 2 年 7 月 1 日
(6)	敷 地 面 積	2,528.64 m ²
(7)	建 設 面 積	1,632.55 m ²
(8)	延 床 面 積	22,856,831 m ²
(9)	構 造	S 造、SRC 造、RC 造 地上 13 階・地下 2 階・塔屋 2 階
(10)	施 設	内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、 皮膚・形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、脳神経外科、 全 14 科 病棟数 3 病棟 病床数 143 床 病室 特室 1 室・個室 30 室・二人室 3 室・三人室 6 室 四人室 21 室・重症室 (2 人) 2 室
(11)	施 設 基 準	一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 1) 入院時食事療養 (I)
(12)	駐 車 場	39 台
(13)	病院施設認定一覧	<ul style="list-style-type: none">・日本外科学会認定医制度修練施設・日本外科学会外科専門医制度修練施設・日本整形外科学会専門医制度修練施設・日本泌尿器科学会専門医教育施設・日本眼科学会専門医制度研修施設・日本麻酔科学会麻酔科認定病院・日本総合健診医学会優良総合健診施設・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設・日本消化器病学会専門医制度認定施設・日本消化器内視鏡学会認定施設・日本総合健診医学会専門医研修施設・人間ドック健診施設機能評価認定施設・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設・下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設・日本大腸肛門病学会認定施設・臨床肛門病技能認定施設

基本診療料施設基準届出状況

施設基準名	
1	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
2	診療録管理体制加算1
3	医師事務作業補助体制加算1（20対1）
4	急性期看護補助体制加算（25対1）（看護補助者5割未満）
5	看護職員夜間配置加算（12対1 配置加算1）
6	療養環境加算
7	重症者等療養環境特別加算
8	医療安全対策加算2・医療安全対策地域連携加算2
9	感染防止対策加算2
10	後発医薬品使用体制加算1
11	病棟薬剤業務実施加算1
12	データ提出加算（データ提出加算2・ロ・提出データ評価加算）
13	認知症ケア加算（加算3）
食	入院時食事療養/生活療養（I）

特掲診療料施設基準届出状況

施設基準名	
1	婦人科特定疾患治療管理料
2	ニコチン依存症管理料
3	がん治療連携指導料
4	薬剤管理指導料
5	医療機器安全管理料1
6	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
7	検体検査管理加算（I）
8	検体検査管理加算（II）
9	ロービジョン検査判断料
10	コンタクトレンズ検査料1
11	画像診断管理加算1
12	画像診断管理加算2
13	CT撮影及びMR I撮影
14	冠動脈CT撮影加算
15	心臓MR I撮影加算
16	乳房MR I撮影加算
17	無菌製剤処理料
18	運動器リハビリテーション料（I）
19	呼吸器リハビリテーション料（II）
20	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
21	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
22	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
23	大動脈バルーンパンピング法（I A B P法）
24	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術等
25	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
26	膀胱水圧拡張術
27	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
28	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
29	人工尿道括約筋植込・置換術
30	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
31	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
32	腹腔鏡下仙骨腫固定術
33	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
34	麻酔管理料（I）

職 員 構 成

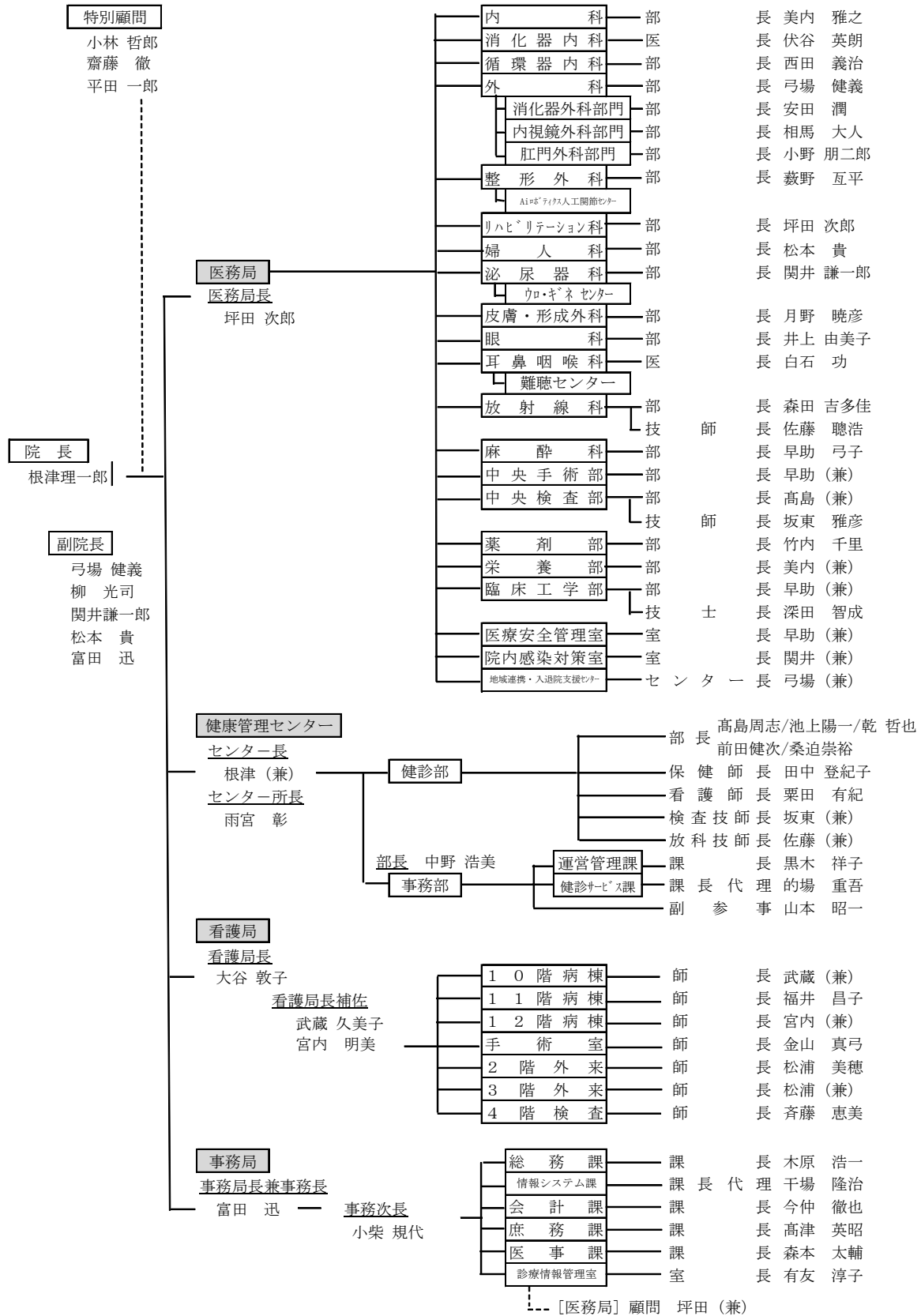
令和3年4月1日

区 分		正 規							準 職 員					非 常 勤		計	
		医師	正看	准看	保健	看助	医技	洗浄	事務	医師	正看	医技	洗浄	事務	医師		医技
診 療 部 門	内 科	2													8		10
	消 化 器 内 科	4													4		8
	循 環 器 内 科	3													4		7
	外 科	10													1		11
	整 形 外 科	2													4		6
	婦 人 科	5													4		9
	皮 膚 ・ 形 成 外 科	1													1		2
	泌 尿 器 科	3													1		4
	耳 鼻 咽 喉 科	1													3		4
	眼 科	1					2								6	3	12
	放 射 線 科	1					18								5		24
	麻 酔 科	3													4		7
	リハビリテーション科	(1)					4										4
	薬 剤 部						9		1								10
	中 央 検 査 部	(1)					30				9				3		42
	臨 床 工 学 部	(1)					3										3
栄 養 部	(1)					3										3	
地域連携入退院支援センター	(1)					1		1								2	
健 管 C	健 診 部	8	6		6			2		2	16	1	5		31	4	81
	事 務 部								47				4				51
看 護 部 門	看 護 局 長		1														1
	看 護 局 長 補 佐		2														2
	外 来		38			6					1						45
	中央手術部(中材含む)		19					5									24
	10 階 病 棟		23			2											25
	11 階 病 棟		24			2											26
12 階 病 棟		29	1		3											33	
事 務 部 門	事 務 局 長								1								1
	事 務 次 長								1								1
	総 務 課								5				3				8
	会 計 課								2								2
	庶 務 課								2				3				5
	情 報 シ ス テ ム 課								2								2
	診 療 情 報 管 理 室								3								3
	医 事 課								27					1			28
計	44	142	1	6	13	70	7	92	2	17	10	5	1	79	7	506	

※()は兼務のため合計に含めず

組 織 図

令和3年 4月 1日現在



各種委員会

- (1) 労働安全衛生委員会
- (2) 院内感染防止対策委員会
- (3) 感染対策部委員会
- (4) 業務改善委員会
- (5) 薬事委員会
- (6) 治験審査委員会
- (7) 栄養委員会
- (8) 輸血療法委員会
- (9) DPC 検討委員会
- (10) 医療ガス安全・管理委員会
- (11) 中央手術部委員会
- (12) 診療情報管理委員会
- (13) 広報委員会
- (14) 医療安全委員会
- (15) 情報システム委員会
- (16) Re アクション委員会
- (17) 医療倫理委員会
- (18) 年報編集委員会
- (19) 褥瘡対策委員会
- (20) 図書運営委員会
- (21) 福利厚生委員会
- (22) 外来・病床運営委員会
- (23) 個人情報保護委員会
- (24) 教育・研修委員会
- (25) レセプト審査委員会
- (26) 臨床検査適正化委員会
- (27) 職員食堂委員会
- (28) 接遇委員会
- (29) 勤務医（その他）負担軽減委員会
- (30) 医療放射線管理委員会
- (31) 機器購入委員会
- (32) 化学療法レジメン運営委員会
- (33) クリニカルパス委員会

内科

1. 概要

『 当科の方針と特徴 』

常勤医 2 名と非常勤医 6 名（計 糖尿病専門医師 4 名含む）で糖尿病とその合併症の精査加療および疾患管理、肥満・メタボリック症候群（MetS）、脂質異常症、脂肪肝（他の肝障害を含）、高尿酸血症、甲状腺疾患、高血圧、貧血、呼吸器疾患を主とした外来診療を行なっております。特に糖尿病および代謝疾患の管理は最新の治療薬剤（2020 年度は多くの治療新薬が登場）や専門デバイスをを用いて行なっており、コメディカルスタッフ（日本糖尿病療養指導士 4 名）と協同し、比較的良好な疾患管理を行なっております。また、当院検診センターとの医療連携も強固であり、本年度も多くの患者往来がみられました。例年と異なり本年度は SARS-CoV-2 感染症（通称 COVID-19）や有症状（発熱、呼吸器症状、全身倦怠感など）の外来対応にも内科医として協力しており、内科部門は非常に厳しい閾値をもって通常外来とのゾーニングを行い、安全かつ強力な診療体制の確保にも心がけております。

『 2021 年の目標 』

2021 年度も引き続き現状を維持しつつ疾患管理の質の向上に努めてまいります。

2. 診療実績

当科フォロー患者数：3,338 名（おおよそ 2~3 ヶ月間隔で外来フォロー中です）

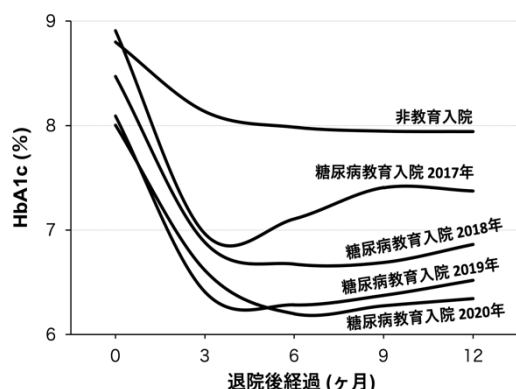
有症状外来対応：157 名

糖尿病 平均 59.8 歳	糖尿病腎症	肥満症 (MetS 含)	脂質異常症	高尿酸血症	甲状腺	貧血	呼吸器
1,873 名 (1 型 39 名)	477 名	480 名	1,600 名	464 名	126 名	231 名	318 名

[平均 HbA1c 6.8±1.3%]

当科では約 1 週間（5 泊 6 日）の糖尿病教育入院も積極的に実施しています。

【 糖尿病教育入院後の HbA1c 推移 】



糖尿病など生活習慣病の治療等で最も重要なシーンは最初にあるという概念に基づいて、初めて糖尿病と診断された方や治療中に血糖管理が悪化して入院となった方を対象に糖尿病教育入院を稼働させております。2017 年からは内容を毎年アレンジし強化しており、退院後の約 1 年間は HbA1c < 7%（国際標準の最低限の血糖コントロールの目標値）を維持できるようになりました。現在、外来療養指導介入の強化策を計画中です

3. 業績

学会発表

1. 片山弥生、岡田美織、武内真有、山木香名、明神真希子、南 雄三、美内雅之
糖尿病患者における食事内容と体組成との関連性の検討. 第 23 回日本病態栄養学会年次学術集会. 2020 年 1 月 24 日～1 月 26 日. 国立京都国際会議場 (京都府) .
2. M Miuchi, A Hatano, M Takeuchi, M Okada, Y Katayama, S Tsuruoka, C Takeuchi.
Moderate-intensity activity may reduce both the body fat composition and pancreatic glucagon secretion in type 2 diabetes. 56th Annual Meeting of European Association for the Study of Diabetes (EASD). 2020 年 9 月 21 日～25 日. Vienna (Austria).
3. 美内雅之、山木香名、明神真希子、武内真有、片山弥生、岡田美織、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、南 雄三. 持効溶解型インスリン注射薬と少量 GLP-1 受容体作動薬の併用療法の有用性の検討. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2020 年 10 月 5 日～16 日. 琵琶湖大津プリンスホテル (滋賀県) .
4. 片山弥生、岡田美織、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、山木香名、明神真希子、武内真有、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之. 摂取栄養素の変化と臨床データとの関連性の検討
第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2020 年 10 月 5 日～16 日. 琵琶湖大津プリンスホテル (滋賀県) .
5. 鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、片山弥生、岡田美織、武内真有、明神真希子、山木香名、南 雄三、美内雅之. 糖尿病治療薬剤の投与状況からみた Clinical inertia ～その後の観察検討 (約 4 年間) ～. 第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2020 年 10 月 5 日～16 日. 琵琶湖大津プリンスホテル (滋賀県) .

消化器内科

1. 概要

消化器内科は、日本消化器病学会の認定施設（指導施設）、日本消化器内視鏡学会の指導施設、日本消化器内視鏡学会 JED project 参加施設など学会からの認定を受けています。医師スタッフは、現在、特別顧問1名・医長2名・医員1名（育休中）であり、上部・下部の内視鏡診断・治療、消化器内科疾患（上下部消化管の腫瘍、IBD、ピロリ感染症、GERD など）の診療に携わっています。また、当院健診センターの上部内視鏡検査、胃透視読影などの応援もあわせて行っています。その他、消化管 X 線造影、CT colonography、MR enterography、カプセル内視鏡などの検査も随時行っています。

『当科の方針と特徴』

当院は、健診受検者が非常に多いため、そこから多くの2次健診（いわゆる精密検査）依頼を受け診療業務を行っているのが、第1の特徴である。主に、上部および下部消化管疾患（癌、ポリープ、ヘリコバクターピロリ感染症）、肝胆膵疾患（膵嚢胞性疾患、胆石、肝炎）などの患者さんの診療に当たっている。第2の特徴は、当院の肛門外科より多くのIBD患者（クローン病、潰瘍性大腸炎）の紹介を受け、診療を行っている。当科の方針は、これら患者さんに出来るだけ対応し、内視鏡検査件数、外来および入院患者数を増やすことである。

『診療日程』

	室	月		火		水		木		金		※土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
消化器内科	1	薦田みのり 【消化器内科】		伏谷英朗 【消化器内科】	平田一郎 (2次健診)	平田一郎 【消化器内科】		平田一郎 【消化器内科】	平田一郎 (2次健診)	伏谷英朗 【消化器内科】		

『2021年の目標』

2021年の目標は、消化器内科スタッフの充実を図り、現在中断しているESDの再開、IBD患者の増加などによって入院患者を増やすことである。

2. 診療実績

1. 外来患者総数

2019年度 10,871

2020年度 7,721

2. 入院患者総数

2019年度 1,645

2020年度 1,081

3. 内視鏡検査件数

2019年度内視鏡件数 (3,427件)

1) 上部消化管 1,932件

治療内視鏡 (ESD14件, EMR2件, 止血術5件, 異物除去5件)

2) 下部内視鏡 1,495件

治療内視鏡 (EMR 304件, 止血術8件, 拡張術1件)

2020年度内視鏡件数 (2,476件)

1) 上部消化管 1,309件

治療内視鏡 (ESD 8件, EMR 1件, 異物除去1件)

2) 下部内視鏡 1,167件

治療内視鏡 (EMR 325件, 止血術 10件, ステント 1件)

3. 業績

【学会・研究会・座長・司会】

1. 平田一郎：特別発言「ワークショップ 2 大腸憩室出血の診断と治療」：第75回日本大腸肛門病学会学術集会；2020年11月13-14日；神奈川県横浜市（WEB開催）
2. 平田一郎：座長「講演Ⅰ．潰瘍性大腸炎の内科治療戦略」第12回関西消化器・肝疾患懇話会；2019年12月7日；大阪市
3. 平田一郎：司会「特別講演：IBD診療のヒヤリハット」：第42回大腸病態・治療研究会；2019年11月14日；大阪市
4. 平田一郎：座長「特別講演：大腸癌肝転移治療戦略の変遷」：第29回大腸Ⅱc研究会；2019年9月15日；東京都中央区
5. 平田一郎：特別講演「食道・胃・大腸がんの予防と早期診断と治療」：第174回堺画像研究会；2019年6月15日；大阪府堺市
6. 平田一郎：特別講演「腸炎の画像鑑別診断-診断困難例も含めて-」：IBD Specialist of Private Clinic (IBD-P) 関西特別企画；2019年4月20日；大阪市

【論文・著書】

1. 平田一郎：全身性悪性リンパ腫の消化管続発病変の特徴．消化器内視鏡 33：839-847，2021
2. Hirata I：Evaluation of the usefulness of the simultaneous assay of fecal hemoglobin(Hb) and transferrin(Tf) in colorectal cancer screening -for the establishment of the Hb and Tf two-step cutoff assay(HTTC assay). Diagnosis 7: 133-139, 2020
3. 平田一郎，村野実之，村野直子：ANCA 関連血管炎(多発血管炎性肉芽腫症，好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)．消化器内視鏡 32：195-197，2020
4. 平田一郎：便中ヘモグロビン・便中トランスフェリン．大西宏明，他(編)：臨床検査ガイド 2020年改訂版．文光堂，pp1005-1008，2020
5. 田坂貴統，原田明子，伏谷英朗，平田一郎：消化管運動促進薬・水分摂取を併用した大腸内視鏡検査前処置におけるクエン酸マグネシウム等張液とポリエチレングリコール高張液との非盲検ランダム化比較試験．J. Colon Exam 37: 18-27，2020
6. 平田一郎：腸疾患-大腸粘膜下腫瘍．南学正臣(総編)：内科学書 改訂第9版．中山書店，pp226-230，2019
7. 平田一郎：巻頭言「血流障害と消化管疾患」臨床消化器内科 34：5，2019
8. 平田一郎：第2章 腸管ベーチェット病の臨床診断．主な鑑別疾患．鈴木康夫(監修)，小林清典，他(編)：腸管ベーチェット病のすべてがわかる-診療ハンドブック-，先端医学社，pp49-54，2018
9. 平田一郎：Ⅵ．炎症性腸疾患の内科的治療-腸管合併症．日本臨床 76: 414-419，2018

循環器内科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当科の方針でありかつ特徴は、『明るく・楽しく・親切』をモットーとし迅速で安全な医療を行うことです。外来診療ではできる検査(各種エコー検査、負荷心電図やホルター心電図等)は可能な限り当日中に行い、入院診療では短期間の入院となるように努めております。当科では、虚血性心疾患、心不全、心臓弁膜症、不整脈、末梢動脈疾患、生活習慣病、家族性高コレステロール血症および静脈血栓症等の診断と治療を行っています。症状、心疾患の家族歴、冠危険因子、心・頸動脈エコー及び負荷心電図の結果をもとに、虚血性心疾患が疑わしければ冠動脈 CT(急性冠症候群等では省略)を施行します。冠動脈 CT 上有意狭窄が疑われれば、入院して頂き冠動脈造影検査を施行します。造影上有意狭窄があれば、当院ではほぼ全例血管内エコーを使い PCI を行います。ここ最近では年間 200-250 例の PCI を行い、死亡・脳梗塞・緊急手術といった重篤な合併症はありません。発作性上室性頻拍、心房粗動、心室頻拍等の頻脈性不整脈及び心房細動に対しては、関西労災病院の増田正晴先生が当院にてアブレーション治療を行っています。年間 90-100 例を治療しています。徐脈性不整脈(洞不全症候群、房室ブロック、徐脈性心房細動)に対しては、ペースメーカー植え込み術を施行しています。糖尿病や高齢者の増加に伴い末梢動脈疾患も増加しております。当科では主に腸骨～大腿動脈病変に対する経皮的動脈形成術(PTA)を年間 20-25 例施行しております。動脈硬化性疾患は、高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙・内臓蓄積型肥満症などの生活習慣病を基盤として発症するため、各々の因子をコントロールすることが重要です。当院では、当院糖尿病内科・栄養部や大阪大学研究グループと連携を密に保ち生活習慣病の予防・加療に努めております。家族性高コレステロール血症(FH)は、LDL 受容体関連遺伝子の変異による常染色体優性遺伝する疾患です。FH ヘテロ接合体患者は 500 人に 1 人以上、ホモ接合体患者は 100 万人に 1 人以上の頻度で認められ、わが国における FH 患者総数は 25 万人以上と推定されています。ホモ接合体患者と一部の重症ヘテロ接合体患者は、内服加療だけでは LDL-コレステロールをコントロールできません。長期予後改善のためには、透析に似た回路を使い血中の LDL を吸着する LDL-アフェレーシスが必須です。当院は梅田にあり交通の便が良いため、大阪大学や国立循環器研究病センターから御紹介頂いた患者さんの LDL-アフェレーシスを施行しています。深部静脈血栓症は、エコノミークラス症候群の認知と共にその病因として広く知られるようになりました。当科では肺塞栓症症例、心肺機能が低下している深部静脈血栓症症例、血栓形成ハイリスク疾患で ADL 改善が期待できない症例、肺塞栓を起こすリスクの高い大腿静脈から腸骨静脈の大きな血栓に対して、一時的もしくは永久的に下大静脈フィルターを留置し血栓溶解療法を施行しています。

『スタッフ』

副院長：柳光司 部長：西田義治 医長：西尾宗高
非常勤医師：増田正晴(関西労災病院・不整脈)、他 2 名

『診療日程』

	室	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
循環器 内科	3	柳 光司 【循環器内科】		柳 光司 【循環器内科】		柳 光司 【循環器内科】		梁 美和 【循環器内科】	梁 美和 【循環器内科】 (禁煙外来) ※禁煙外来は予約のみ 診療13:30から	柳 光司 【循環器内科】		
	5			宮脇 大 【循環器内科】								
	6	西尾宗高 【循環器内科】		西田義治 【循環器内科】		西尾宗高 【循環器内科】		西田義治 【循環器内科】		西田義治 【循環器内科】		

『2021年の目標』

COVID-19 のため大変な世の中ですが、可能な範囲で迅速で安全な医療を最大限に行う。

2. 診療実績

2019年(1月～12月)

年間外来患者数:23,454人

年間初診患者数:493人

年間入院患者数:1,194人

冠動脈造影検査(PCI等含む):506例

経皮的冠動脈形成術(PCI):200例

経皮的動脈形成術(PTA):22例

経皮的腎動脈形成術(PTRA):4例

カテーテルアブレーション:92例

ペースメーカー留置術:24例

下大静脈フィルター:4例

心エコー:3,087例

経食道エコー:42件

頸動脈エコー:2,957例

下肢動脈エコー:332例

下肢静脈エコー:900例

腎動脈エコー:1,021例

トレッドミル運動負荷心電図:1,881例

ホルター心電図:357例

心臓CT:955例

2020年(1月～12月)

年間外来患者数:21,576人

年間初診患者数:320人

年間入院患者数:1,165人

冠動脈造影検査(PCI等含む):484例

経皮的冠動脈形成術(PCI):236例

経皮的動脈形成術(PTA):20例

経皮的腎動脈形成術(PTRA):2例

カテーテルアブレーション:94例

ペースメーカー留置術:13例

下大静脈フィルター:6例

心エコー:2,975例

経食道エコー:26件

頸動脈エコー:2,651例

下肢動脈エコー:295例

下肢静脈エコー:887例

腎動脈エコー:855例

トレッドミル運動負荷心電図:1,555例

ホルター心電図:316例

心臓CT:927例

3. 業績

【学会・研究会】

1. 柳光司：アルコール性肝障害で通院中に著明な高脂血症を発症した1例，第14回FHと脂質管理について考える会，2019年9月6日，大阪市
2. 柳光司：アルコール性肝障害で通院中に著明な高脂血症を発症した1例，第25回中ノ島循環器・代謝フォーラム，2019年9月28日，大阪市
3. 柳光司：MDCTで評価困難なステント内再狭窄症例，第26回中ノ島循環器・代謝フォーラム，2020年11月21日，大阪市

【論文・著書】

Kameyama N, Maruyama C, Kitagawa F, Nishii K, Uenomachi K, Katayama Y, Koga H, Chikamoto N, Kuwata Y, Torigoe J, Arimoto M, Tokumaru T, Ikewaki K, Nohara A, Otsubo Y, Yanagi K, Yoshida M, Harada-Shiba M : Dietary Intake during 56 Weeks of a Low-Fat Diet for Lomitapide Treatment in Japanese Patients with Homozygous Familial Hypercholesterolemia. *Journal of Atherosclerosis and Thrombosis*. 26(1): 72-83, 2019

外科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

大阪中央病院外科は消化器外科、肛門外科および乳腺・甲状腺外科よりなります。外科領域において近年進歩してきたのは内視鏡外科手術です。この分野に関して、積極的に腹腔鏡下手術に取り組んできました。また、炎症性腸疾患分野の専門家である根津理一郎院長就任（2020年）に伴い、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対しても積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。

<消化器外科>

消化器外科については、根津、弓場、安田、相馬が内視鏡外科手術（95%以上）を中心に手術を行っています。また、内視鏡外科学会技術認定取得者（合格率30%以下）が5名（胃1名、大腸3名、胆道1名）在籍しています。当科は大阪大学消化器外科の関連病院として連携しています。

- ・ 胆嚢疾患：胆石症や胆嚢ポリープ・胆嚢腺筋症などに対する腹腔鏡下胆嚢摘出術は、当科で最も施行症例の多い手術で、例年70例前後に施行しています。さらに総胆管結石症に対しても、ほぼ全例に胆嚢摘出と同時に腹腔鏡下に結石除去を行っています。
- ・ 食道疾患：当科では腹部食道の良性疾患に力を入れてきました。腹部食道は通常の開腹手術では相当大きく切らないと手術できない部位ですが、腹腔鏡を用いれば比較的容易に術野が展開できるため、腹腔鏡下手術の良い適応と考えられます。食道アカラシアに対する腹腔鏡下手術はこれまでに36例に行い、逆流性食道炎、食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下噴門形成術はこれまでに39例に行いました。
- ・ 胃疾患：胃癌に対する腹腔鏡下手術は、当科において積極的に施行しています（腹腔鏡下手術率90%以上）。とくに当初、早期胃癌のみが適応でしたが、郭清技術の向上にともない、進行胃癌にも適応を広げています。また、以前は体腔外で吻合を行う「腹腔鏡補助下胃切除術」でしたが、2015年よりはすべて腹腔内で吻合を行う「完全腹腔鏡下胃切除術」を施行しています。さらに早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）も消化器内科において実施しています。
- ・ 大腸疾患：大腸癌に対しても積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。一部の例外（腸閉塞を併発した症例や周辺の臓器に浸潤した腫瘍の症例など）を除いて、殆どの大腸癌症例に腹腔鏡下手術を施行しています。年間20～30人程度の大腸癌症例に手術を施行していますが、腹腔鏡下手術の割合は90%を越えています。また、以前は体腔外で吻合を行う「腹腔鏡補助下結腸切除術」でしたが、2019年よりはすべて腹腔内で吻合を行う「腹腔鏡下結腸切除術」を施行しています。
- ・ 難治性の直腸脱（完全直腸脱）症例に対して、より再発が少ないとされる腹腔鏡下直腸固定術を積極的に行っています。2015年末までに腹腔鏡下直腸後方固定術（Wells変法）を47例に行い、良好な成績でした。さらに2016年初めより、より良い成績と低侵襲を目指して、欧米で標準術式とされる腹腔鏡下直腸腹側固定術を導入しました。現在は腹腔鏡下直

腸腹側固定術と腹腔鏡下直腸後方固定術を併用し、2021年3月までに合計265例に施行し、良好な成績を上げています。

- ・ 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対しても積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。また潰瘍性大腸炎根治手術後の合併症併発例に対するサルベージ手術、クローン病複雑再発例、肛門病変合併例に対する外科治療も多数例経験しており、良好な成績を収めています。
- ・ その他：急性虫垂炎はほぼ全例に、ソケイヘルニアも80%を越えて積極的に腹腔鏡下手術を行っています。

<肛門外科>

肛門疾患については、齋藤を中心に小野、宮崎、錦織、久能が痔核、裂孔、痔瘻、脱肛、直腸脱などの疾患を専門診療、手術しています。当院の診療の性格（位置づけ）は、大腸肛門病学会認定の肛門専門医・指導医、臨床肛門病学会認定の肛門疾患の技能認定医・指導医が複数勤務する肛門診療の基幹的（紹介型）施設です。すなわち、近畿地方の診療所や病院から診断・治療の難しい肛門疾患の症例や、治療後の経過が思わしくない症例が多数紹介される施設です。

<乳腺・甲状腺外科>

乳腺・甲状腺疾患については、小林と安田を中心として診療しており、当院健診センターとの協力体制で、診断から治療（手術、化学療法など）まで一貫した診療を行っています。

『スタッフ』

現在（2021年4月1日）の陣容は、根津理一郎院長、弓場健義副院長兼外科部長、小林哲郎特別顧問、齋藤 徹特別顧問、安田 潤消化器外科部長、相馬大人内視鏡外科部長、小野朋二郎肛門外科部長、宮崎 進医長、錦織英知医長、久能英法医長の計10名に、福井玲子（乳腺外科）非常勤医師1名で構成されています。なお、村山浩之医長が2020年3月31日、家田淳司医長が2021年3月31日に退職しています。

『診療日程』

	室	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
消化器外科	1	弓場健義	相馬大人 安田 潤 (交代)	根津理一郎	小林哲郎 (乳腺・甲状腺外来) ※予約制	弓場健義	相馬大人	錦織英知 (肛門外来)		福井 玲子 (乳腺外来) ※予約制	小林哲郎 (乳腺・甲状腺外来) ※予約制	福井 玲子 (第2週) (乳腺外来) (健診予約のみ)
肛門外科	2	齋藤 徹 (肛門外来) ※予約制		宮崎 進 (肛門外来)		安田 潤	齋藤 徹 (肛門外来) ※予約制	小野朋二郎 (肛門外来)		小野朋二郎 (肛門外来)	相馬/安田 交代	相馬/安田 交代 (第2・4週) (IC外来)
乳腺外科	3					小野朋二郎 (肛門外来)				相馬/安田 交代		
		OP		OP	OP	OP		OP	OP	OP	OP	

『2021年の目標』

消化器外科：本邦トップクラスの肛門外科とタイアップし、完全直腸脱症例に対する腹腔鏡下直腸固定術症例の増加に努め、本邦トップクラスを目指します。また、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術におけるロボット支援の保険収載時に対応できるように準備します。

肛門外科：コロナウィルス感染者の蔓延による受診控えと、紹介元の患者数減少による紹介患者

数の減少により、右肩上がりで増加していた手術件数が2020年は減少しました。コロナウィルスの感染・蔓延は続いています。2021年は2020年の件数を上回ることを目指します。

2. 診療実績

2016年～2020年 主な手術実績（消化器外科）

内訳					
	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
食道裂孔ヘルニア	4	1	0	1	0
胃癌	9	10	12	10	7
結腸・直腸癌	27	22	27	14	17
胆石・胆嚢ポリープ	69	78	60	51	48
総胆管結石症	0	2	3	3	1
ヘルニア	21	33	31	41	18
虫垂炎	10	3	4	6	3
直腸脱 [うち腹腔鏡下直腸固定術]	100 [32]	177 [41]	180 [37]	124 [46]	143 [60]
炎症性腸疾患					1
NCD登録数	922	1,318	1,517	1,798	1,565

2016年～2020年 主な手術実績（肛門外科）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
痔核	275	475	553	695	517
痔瘻	229	349	436	551	521
裂肛・肛門狭窄	43	43	71	76	67
直腸脱	68	136	143	78	83
その他	49	65	99	135	168
計	664	1,068	1,302	1,535	1,356

2016年～2020年 主な手術実績（乳腺・甲状腺外科）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
初回乳癌	25	23	27	31	27

3. 業績

【学会・研究会・座長・司会】

『発表・講演』

【2019年】

1. Yumiba T, Souma Y, Yasuda J, Takenaka Y, Ono T, Nouyama T, Saito T, Kobayashi T, Ohashi S: Outcomes of totally laparoscopic distal gastrectomy compared with laparoscopy assisted gastrectomy. 第91回日本胃癌学会総会; 2019/2/27-3/1; 静岡県沼津市
2. Yasuda J, Yumiba T, Souma Y, Takenaka Y, Ono T, Noyama T, Saito T, Kobayashi T, Ohashi S. The surgical outcomes of laparoscopic rectopexy for recurrent rectal prolapse: 54th European Society for Surgical Research; 2019/3/13-15; Geneva
3. Souma Y, Yumiba T, Yasuda J, Takenaka Y, Ono T, Noyama T, Saito T, Kobayashi T, Ohashi S: A long surviving case of advanced gastric cancer with para-aortic lymph node metastasis after neoadjuvant chemotherapy. 第91回日本胃癌学会総会; 2019/2/27-3/1; 静岡県沼津市
4. 弓場健義、相馬大人、安田 潤、竹中雄也、小野朋二郎、能山智宏、齋藤 徹、大橋秀一：完全直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術における便失禁、便秘と肛門内圧測定：第74回日本消化器外科学会総会；2019年7月17日—19日；東京都港区
5. 弓場健義：患者さんの目線に立ち患者さんに寄り添った胃癌診療：第24回関西がんチーム医療研究会（ランチョンセミナー）；2019年3月16日；大阪市
6. 弓場健義：直腸脱に対する外科治療—とくに腹腔鏡下直腸固定術について—：日医生涯教育講座 医学の進歩（学術講演）；2019年4月25日；大阪市
7. 齋藤 徹：肛門科の医師として - 過去から未来へ -：第3回日本臨床肛門病学会学術集会（会長講演）；2019年3月17日；東京
8. 齋藤 徹：肛門疾患の診断のコツ：日医生涯教育講座 医学の進歩（学術講演）；2019年4月25日；大阪市
9. 齋藤 徹：私の痔瘻治療 シートン法を中心に：北海道 ALTA 研究会（学術講演）；2019年5月18日；札幌市
10. 齋藤 徹：私の痔核治療法 LE と ALTA 療法を中心に：北海道 ALTA 研究会（学術講演）；2019年5月18日；札幌市
11. 齋藤 徹：ALTA 療法における有害事象の種類と頻度：第13回内痔核治療法研究会（学術講演）；2019年7月21日；東京都千代田区
12. 齋藤 徹：ALTA 療法を安全に施行するために：東北 ALTA 治療実践セミナー（学術講演）；2019年8月24日；仙台市
13. 齋藤 徹：痔瘻手術（シートン法）のトラブルと深部痔瘻の原発口の方向について：第45回六甲肛門疾患研究会（学術講演）；2019年10月19日；神戸市
14. 齋藤 徹：治療効果を高めるために知っておくべき事柄：ALTA 療法の効果を高めるための実践セミナー（学術講演）；2019年10月20日；大阪市

15. 齋藤 徹：痔核の知識と四段階注射法の手技：四段階注射法講習会（学術講演）；2019年10月27日；吹田市
16. 齋藤 徹：肛門疾患と排便習慣：徳島肛門疾患懇談会（学術講演）；2019年12月17日；徳島市
17. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、竹中雄也、小野朋二郎、齋藤徹、大橋秀一：完全直腸脱を合併した直腸癌の2例：第74回日本大腸肛門病学会；2019年10月11日-12日；東京都港区
18. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、宮崎 進、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、齋藤 徹、小林哲郎、大橋秀一：S状結腸癌に対する腹腔鏡下S状結腸切除術における左結腸動脈温存の手術成績：第32回日本内視鏡外科学会；2019年12月5日-6日；横浜市
19. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、竹中雅也、小野朋二郎、能山智宏、齋藤徹、大橋秀一：再発直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手術成績：第119回日本外科学会；2019年4月18日-20日；大阪市
20. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、竹中雅也、小野朋二郎、能山智宏、齋藤徹、大橋秀一：鼠径ヘルニア修復術10年後にメッシュプラグによる盲腸穿通を認めた1例：第17回日本ヘルニア学会；2019年5月24日-25日；三重県四日市
21. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、竹中雅也、小野朋二郎、能山智宏、齋藤徹、大橋秀一：当院における総胆管結石症に対する腹腔鏡下総胆管切開切石術の成績：第74回日本消化器外科学会総会；2019年7月17日-19日；東京都港区
22. 安田 潤、小林哲郎、相馬大人、竹中雅也、小野朋二郎、能山智宏、齋藤徹、弓場健義、大橋秀一：粘液分泌腫瘍の検討：第27回日本乳癌学会；2019年7月11日-13日；東京都新宿区
23. 相馬大人、弓場健義、安田潤、竹中雄也、小野朋次郎、能山智宏、齋藤徹、小林哲郎、大橋秀一：85歳以上の高齢者直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の有用性：第119回日本外科学会；2019年4月18日-20日；大阪市
24. 相馬大人、弓場健義、安田潤、竹中雄也、小野朋二郎、齋藤徹、小林哲郎、関井謙一郎、大橋秀一：当院における完全直腸脱を伴う骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下手術の工夫：第44回日本外科系連合学会；2019年6月19日-21日；金沢市
25. 相馬大人、弓場健義、安田潤、竹中雄也、小野朋二郎、齋藤徹、小林哲郎、大橋秀一：腹腔鏡下直腸固定術の至適術式の選択：術中経肛門陰圧試験の有用性：第74回日本消化器外科学会総会；2019年7月17日-19日；東京都港区
26. 相馬大人、弓場健義、安田潤、宮崎進、小野朋二郎、村山浩之、家田淳司、齋藤徹、小林哲郎、大橋秀一：当院における高度直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の治療成績：第74回日本大腸肛門病学会；2019年10月11日-12日；東京都港区
27. 相馬大人、弓場健義、安田潤、宮崎進、小野朋二郎、村山浩之、家田淳司、齋藤徹、小林哲郎、大橋秀一：巨大鼠径ヘルニアに対する経陰囊アプローチを併用した腹腔鏡下ヘルニア修復術の1例：第32回日本内視鏡外科学会；2019年12月5日-6日；横浜市
28. 小野朋二郎、齋藤 徹、竹中 雄也、相馬 大人、安田 潤、弓場 健義、大橋 秀一：痔瘻手術治療の現在地 当科における坐骨直腸窩痔瘻症例の検討：第74回日本大腸肛門病学会；2019

年 10 月 11 日-12 日；東京都港区

29. 小野朋二郎、齋藤 徹、相馬 大人、安田 潤、弓場 健義、大橋 秀一：直腸重積に起因する閉塞性排便障害に対する MuRAL 手術：第 74 回日本消化器外科学会総会；2019 年 7 月 17 日-19 日；東京都港区
30. 小野朋二郎：坐骨直腸窩痔瘻に対する括約筋温存術式：第 204 回大腸肛門病懇談会；2019 年 12 月；東京都新宿
31. 小野朋二郎：慢性裂肛に対するブクラデシンナトリウム軟膏の臨床効果：第 66 回東海肛門疾患懇談会；2019 年 12 月；名古屋市
32. 村山浩之、齋藤 徹、小野 朋二郎、家田 淳司、竹中 雄也、相馬 大人、安田 潤、弓場 健義：肛門周囲に発生した Giant condyloma acuminatum の 3 例：第 74 回日本大腸肛門病学会；2019 年 10 月 11 日-12 日；東京都港区
33. 竹中雄也、齋藤 徹、小野 朋二郎、能山 智宏、相馬 大人、安田 潤、弓場 健義、大橋 秀一：痔瘻に対する術前補助診断としての MRI 検査の有用性の検討：第 119 回日本外科学会；2019 年 4 月 18 日 - 20 日；大阪市

【2020 年】

1. Yumiba T, Souma Y, Yasuda Y, Ono T, Ieda J, Murayama H, Saito T, Kobayashi T, Ohashi S: Functional outcomes following laparoscopic rectopexy for patients with complete rectal prolapse: comprehensive anorectal manometric and scoring assessments: 55th Congress of the European Society for Surgical Research; 2020/12/10-11; Innsbruck (Web)
2. Souma T, Yumiba T, Yasuda J, Ieda J, Murayama H, Ono T, Saito T, Kobayashi T, Ohashi S: A case of spontaneous regression of recurrent multiple lymph node metastasis of gastric cancer: 第 92 回日本胃癌学会総会；2020/3/4-6; Tokyo(Web)
3. 齋藤 徹、小野朋二郎、家田淳司、村山浩之、相馬大人、安田潤、小林哲郎、弓場健義、根津理一郎：全周性に脱出する痔核に対する手術のポイント 全周性・多発痔核に対する手術手技：第 75 回日本大腸肛門病学会；2020 年 11 月 13 日-14 日；横浜市 (Web)
4. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、齋藤徹、小林哲郎、根津理一郎：直腸癌に対する腹腔鏡下低位前方切除術における左結腸動脈温存の手術成績：第 75 回日本消化器外科学会；2020 年 12 月 15 日-17 日；和歌山市 (Web)
5. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、齋藤徹、小林哲郎、根津理一郎：前治療のある直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手術成績：第 75 回日本大腸肛門病学会；2020 年 11 月 13 日-14 日；横浜市 (Web)
6. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、大橋秀一：成人 Nuck 管水腫に対する手術術式の検討：第 18 回日本ヘルニア学会；2020 年 11 月 3 日-4 日；東京 (Web)
7. 安田 潤、弓場健義、安田潤、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、齋藤徹、小林哲郎、根津理一郎：総胆管結石症に対する腹腔鏡下総胆管切開切石術の成績：第 33 回近畿内視鏡外科研究会；2020 年 9 月 26 日；大阪市 (Web)
8. 安田 潤、弓場健義、安田潤、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、齋藤徹、小林哲郎、根津

- 理一郎：術中陰圧試験による腹腔鏡下直腸固定術の術式と工夫：第 82 回日本臨床外科学会；2020 年 10 月 29 日－31 日；大阪市（Web）
9. 安田 潤、弓場健義、安田潤、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、斎藤徹、小林哲郎、根津理一郎：大腸憩室炎に対する腹腔鏡手術の検討：第 120 回日本外科学会；2020 年 8 月 13 日－15 日；横浜市（Web）
 10. 相馬大人、弓場健義、安田潤、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、斎藤徹、小林哲郎、根津理一郎：Altemeier 手術後の再発直腸脱に対し腹腔鏡下直腸固定術を施行した 1 例：第 33 回近畿内視鏡外科研究会；2020 年 9 月 26 日；大阪市（Web）
 11. 相馬大人、弓場健義、安田潤、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、斎藤徹、小林哲郎、根津理一郎：85 歳以上の高齢者直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手術成績の検討：第 120 回日本外科学会；2020 年 8 月 13 日－15 日；横浜市（Web）
 12. 相馬大人、弓場健義、安田潤、家田淳司、村山浩之、小野朋二郎、斎藤徹、小林哲郎、根津理一郎：直腸固定術後の再発直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術の手術成績：第 75 回日本消化器外科学会；2020 年 12 月 15 日－17 日；和歌山市（Web）
 13. 小野朋二郎、斎藤徹、家田淳司、村山浩之、相馬大人、安田潤、小林哲郎、弓場健義、根津理一郎：ISR 術後の結腸脱に対して DeLorme 手術を施行した 1 例：第 75 回日本消化器外科学会；2020 年 12 月 15 日－17 日；和歌山市（Web）
 14. 小野朋二郎、斎藤徹、家田淳司、村山浩之、相馬大人、安田潤、小林哲郎、弓場健義、根津理一郎：坐骨直腸窩痔瘻に対する括約筋温存手術：第 75 回日本大腸肛門病学会；2020 年 11 月 13 日－14 日；横浜市（Web）
 15. 家田淳司、斎藤徹、小野朋二郎、村山浩之、相馬大人、安田潤、小林哲郎、弓場健義、根津理一郎：痔核根治術における分離結紮術併用の有効性：第 75 回日本大腸肛門病学会；2020 年 11 月 13 日－14 日；横浜市（Web）
 16. 村山浩之、斎藤徹、家田淳司、小野朋二郎、小野朋二郎、相馬大人、安田潤、小林哲郎、弓場健義、根津理一郎：Rectocele に対する肛門括約筋形成術-会陰体縫合による-：第 75 回日本大腸肛門病学会；2020 年 11 月 13 日－14 日；横浜市（Web）
 17. 福田正博、外山 学、星賀正明、弓場健義、澤 芳樹、中尾正俊、高井康之、茂松茂人：令和元年度 大阪府医師会生涯研修活動の実態：大阪府医師会医学会総会；2020 年 11 月 8 日；大阪市

『座長・司会』

1. 弓場健義：当院における直腸癌集学的治療：令和元年度大阪臨床外科医会総会（座長）；2019 年 6 月 6 日；大阪市
2. 弓場健義：一般演題（パネル展示）：第 43 回大阪府医師会医学会総会（座長）；2019 年 11 月 4 日；大阪市
3. 弓場健義：研修医セッション 胃 2：第 81 回日本臨床外科学会総会（座長）；2019 年 11 月 14 日－16 日；高知市
4. 斎藤 徹：要望演題 肛門病変への対応：第 74 回日本大腸肛門病学会（座長）；2019 年 10

- 月 11 日－12 日；東京都港区
5. 小野朋二郎：深部痔瘻の手術：第 115 回近畿肛門疾患懇談会（司会）；2019 年 2 月；大阪市
 6. 根津理一郎：サージカルフォーラム 大腸-炎症性腸疾患 2：第 121 回日本外科学会（司会）；2019 年 4 月 18 日－20 日；大阪市
 7. 根津理一郎：一般演題 NET 2：第 74 回日本大腸肛門病学会（座長）；2019 年 10 月 11 日－12 日；東京都港区
 8. 根津理一郎：第 81 回 IBD mini conference（司会）；2019 年 4 月 12 日；大阪市
 9. 根津理一郎：一般演題ポスター 患者教育・医療連携・IBD：第 36 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会（司会）；2019 年 2 月 22 日－23 日；大阪市
 10. 根津理一郎：消化管全般 周術期管理：第 120 回日本外科学会（司会）；2020 年 8 月 13 日－15 日；東京都（Web）
 11. 根津理一郎：大腸：炎症性腸疾患 2：第 75 回日本消化器外科学会（座長）；2020 年 12 月 15 日－17 日；和歌山市（Web）
 12. 齋藤 徹：第 29 回教育セミナー肛門科（Ⅱb）：痔核診療の実際－病院と診療所：日本大腸肛門病学会（司会）e-learning（Web 開催）；2020 年 9 月 29 日 - 10 月 12 日

【論文・著書】

1. Yumiba T, Souma Y, Yasuda J, Ieda J, Ono T, Nezu R, Saito T: Laparoscopic ventral rectopexy using the transanal vacuum test for complete rectal prolapse: *Surgery Today*; 2020 Oct online; DOI 10.1007/s00595-020-02168-3
2. Souma Y, Yumiba T, Yasuda J, Ieda J, Miyazaki S, Ono T, Kobayashi T, Saito T, Nezu R: A rare case of biliary peritonitis after colonoscopy without any perforation of the biliary tract: *Biomedical Journal of Scientific & Technical Research*; 2021 Feb online; DOI 10.26717/BJSTR.2021.33.005423
3. Uchino M, Ikeuchi H, Hata K, Okada S, Ishihara S, Morimoto K, Sahara R, Watanabe K, Fukushima K, Takahashi K, Kimura H, Hirata K, Mizushima T, Araki T, Kusunoki M, Nezu R, Nakao S, Itabashi M, Hirata A, Ozawa H, Ishida T, Okabayashi K, Yamamoto T, Noake T, Arakaki J, Watadani Y, Ohge H, Futatsuki R, Koganei K, Sugita A, Higashi D, Futami K.: Changes in the rate of and trends in colectomy for ulcerative colitis during the era of biologics and calcineurin inhibitors based on a Japanese nationwide cohort study. *Surg Today*. 2019 Dec;49(12):1066-1073.
4. Hata T, Yasui M, Ikeda M, Miyake M, Ide Y, Okuyama M, Ikenaga M, Kitani K, Morita S, Matsuda C, Mizushima T, Yamamoto H, Murata K, Sekimoto M, Nezu R, Mori M, Doki Y; For Clinical Study Group of Osaka University Colorectal Group (CSGOCC) Investigators.: Efficacy and safety of anticoagulant prophylaxis for prevention of postoperative venous thromboembolism in Japanese patients undergoing laparoscopic colorectal cancer surgery. *Ann Gastroenterol Surg*. 2019 Jul 22;3(5):568-575.
5. Sueda T, Murata K, Takeda T, Kagawa Y, Hasegawa J, Komori T, Noura S, Ikeda K,

- Tsujie M, Ohue M, Ota H, Ikenaga M, Hata T, Matsuda C, Mizushima T, Yamamoto H, Sekimoto M, Nezu R, Mori M, Doki Y.: Survival outcomes of appendiceal mucinous neoplasms by histological type and stage: Analysis of 266 cases in a multicenter collaborative retrospective clinical study. *Ann Gastroenterol Surg.* 2019 Feb 25;3(3):291-300.
6. Ota H, Danno K, Ohta K, Matsumura T, Komori T, Okamura S, Okano M, Ogawa A, Tamagawa H, Uemura M, Matsuda C, Mizushima T, Yamamoto H, Nezu R, Doki Y, Eguchi H.: Efficacy of Negative Pressure Wound Therapy Followed by Delayed Primary Closure for Abdominal Wounds in Patients with Lower Gastrointestinal Perforations: Multicenter Prospective Study. *J Anus Rectum Colon.* 2020 Jul 30;4(3):114-121.
 7. Tomita N, Kunieda K, Maeda A, Hamada C, Yamanaka T, Sato T, Yoshida K, Boku N, Nezu R, Yamaguchi S, Mishima H, Sadahiro S, Muro K, Ishiguro M, Sakamoto J, Saji S, Maehara Y.: Phase III randomised trial comparing 6 vs. 12-month of capecitabine as adjuvant chemotherapy for patients with stage III colon cancer: final results of the JFMC37-0801 study. *Br J Cancer.* 2019 Apr;120(7):689-696.
 8. 安田 潤、弓場健義、相馬大人、小野朋二郎、藤田茂樹、齋藤 徹：切除後に5年の生存が得られている胃癌孤立性肺転移の1例. *日本臨床外科学会雑誌* 80:1130-36, 2019
 9. 齋藤 徹、小野朋二郎、村山浩之、他：肛門狭窄 別冊日本臨床領域別症候群シリーズ No10 消化管症候群（第3版）Ⅱ p367-370、日本臨床社、2020
 10. 根津理一郎、高木洋治、小林秀之：静脈栄養時における亜鉛栄養状態の検討. *亜鉛栄養治療* 11(1):61-67, 2020

【講演会・セミナーなど】

『学会長・代表世話人』

1. 齋藤 徹：学会長：第3回日本臨床肛門病学会学術集会：2019年3月17日；東京
2. 齋藤 徹：代表世話人：第13回内痔核治療法研究会総会：「ALTA療法における有害事象」「ALTA併用療法のbest therapy」：2019年7月21日；東京
3. 齋藤 徹：代表世話人：第114回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「肛門狭窄の診断と治療」：2019年2月16日；大阪市
4. 齋藤 徹：代表世話人：第115回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「深部痔瘻の手術」：2019年6月15日；大阪市
5. 齋藤 徹：代表世話人：第116回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「ALTA療法後の再治療」：2019年11月9日；大阪市
6. 齋藤 徹：代表世話人：第117回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「周術期の管理」：2020年2月16日；大阪市
7. 根津理一郎：代表世話人：IBD Clinical Approach Web-Learning Seminar：2020年7月6日

【多施設共同研究への参加・製薬企業からの受託研究】

1. がんと静脈血栓塞栓症の臨床研究：多施設共同前向き登録研究
Cancer-VTE Registry (2017年3月～2020年8月)
2. StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法
または XELOX 療法における 5-FU 系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関する
ランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 (JFMC-1202-C3 ACHIEVE Trial)
財団法人がん集学的治療研究財団 (2012. 8. 1～2021. 7. 31)
3. 直腸脱の手術成績に関する後ろ向き研究 Retrospective Study of Surgical Outcomes for
Rectal Prolapse 大阪大学消化器外科共同研究会 大腸疾患分科会 (2021年1月～)
4. 厚労省「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班) project 研究 (多施設共同)「潰瘍性大腸炎治療例の予後-QOL の観点から」(2020年6月～)

整形外科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当院整形外科では、関節外科、特に膝と股関節の痛みや障害に対する治療を中心に診療を行っています。

膝関節外科では、

- ・ 半月板損傷や靭帯損傷などのスポーツ外傷に対する関節鏡視下手術
- ・ 関節軟骨損傷に対する自家培養軟骨細胞移植術
- ・ 初期変形性膝関節症には変性半月板損傷や関節内遊離体に対して関節鏡視下手術
- ・ 中期変形性膝関節症には骨切り術や片側型人工膝関節置換術
- ・ 末期変形性膝関節症には全人工関節置換術

と病期によって適切な治療を選択して行っています。

股関節外科では、

- ・ 股関節唇損傷や大腿白蓋インピンジメントに対する関節鏡視下手術、
- ・ 変形性股関節症、関節リウマチや大腿骨頭壊死による進行、末期の股関節障害に対して筋肉を切らずインナーマッスルを温存する前方アプローチによる最小侵襲人工股関節置換術を行っています。

『スタッフ』

副院長兼リハビリテーション科部長：坪田 次郎

整形外科部長：藪野 互平

『2021年の目標』

- Ai ロボティクス人工関節センターの開設-

人工関節置換術については、2019年以降3D術前プランニングの導入、PSI、ナビゲーションシステムによるコンピューター支援手術を行ってきましたが、2021年1月にストライカー社製の人工関節手術支援ロボット『Mako』を導入しました。Mako SmartRoboticsは従来のナビゲーションシステムをさらに進化させたもので、手術の際に術前プランニングをより正確に再現し、また骨や周囲の軟部組織を保護することで本当の意味での最小侵襲手術の実現を可能にします。

本年度Aiロボティクス人工関節センターを設置し、Aiを搭載した3D術前プランニングソフトによる綿密な術前計画をMako SmartRoboticsで正確・安全に手術を行い、術後のリハビリテーションに歩行アシストロボット（HONDA）を用いたロボットリハビリテーションも導入し、術前から手術、リハビリテーションまで一貫して「Ai×ロボティクステクノロジー」による医療を提供し、患者様の早期社会復帰を目指します。

『診療体制』

外来診療スケジュール

午後診察を膝と股関節の専門外来および予定手術の手術説明の外来診療を行った

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
1診	坪田		非常勤	坪田 人工関節 外来	薮野	坪田 膝・スポーツ 外来	非常勤		非常勤	坪田 手術説明	薮野	
2診	薮野					薮野 股関節外来 手術説明				薮野 股・人工 関節外来		

(土曜日は第2, 4週のみ)

病棟・手術体制

病床数は16床を常勤医2名で担当し、月曜午後、火曜午前、木曜、金曜午前に手術を行った

2. 診療実績

年度別外来・入院延べ患者数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
外来	7,473	7,720	7,942	8,101	6,895
入院	4,605	4,663	4,193	6,227	5,667
新入院患者	177	186	206	261	251

手術件数

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
関節鏡視下半月板手術	34	38	64	57	48
関節鏡視下鼠摘出	13	22	25	18	8
関節鏡視下靭帯形成術	17	11	24	15	15
人工膝関節置換術	64	63	52	86	72
人工膝関節再置換術	0	1	0	1	1
人工股関節置換術	2	3	2	33	43
人工股関節再置換術	0	1	0	1	0
骨切り術	0	0	0	0	4
外反拇趾	0	0	0	1	2
上肢骨折	0	0	1	2	4
下肢骨折	5	4	2	8	10
その他部位の骨折	1	1	1	4	2
抜釘などその他	32	32	15	28	33
総手術数	168	176	186	253	242

3. 業績

【学会発表】

1. 人工股関節全置換術同日リハビリテーションによる臨床的有効性と経済的効果
第45回日本股関節学会 名古屋 2018/10/26-27 藪野互平
2. ナビゲーション人工股関節全置換術のラーニングカーブ —後方から前方へ—
第46回日本股関節学会 宮崎 2019/10/25-26 藪野互平
3. 精神疾患が伴う患者に対する人工股関節全置換術術後合併症の検討 —手術アプローチにより合併症は減らせるか?—
第50回日本人工関節学会 福岡 2020/2/21-22 藪野互平 坪田次郎
4. 肥満度からみたナビゲーションDAA-THAの合併症と早期成績
第47回日本股関節学会 四日市 2020/10/20-21 藪野互平
5. Does Post-operative Day Zero Physical Therapy Contribute to Faster Physical Recovery and Cost Effectiveness for Total Hip Arthroplasty Patients
64th Orthopaedic research society New Orleans 2018 Kohei Yabuno
6. Post-operative Day Zero Physical Therapy Contribute to Faster Physical Recovery and Cost Effectiveness for Total Knee Arthroplasty Patients
Internal society for technology in arthroplasty London 2019 Kohei Yabuno

【論文】

1. Accuracy Of Tibial Component Implantation In Unicompartmental Knee Arthroplasty Using A Navigation System. The Bone and Joint Journal 2017, 99-B (SUPP 1) 99
K.Yabuno

【受賞】

1. 大阪府医師会研究医学研究奨励助成 2020年
ロボットリハビリテーションによる人工関節の有効性 藪野互平

【社会活動】

1. 股関節疾患の基礎知識 佐藤修平のとおき情報 毎日放送 2020年 藪野互平

皮膚・形成外科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

- ・当科は皮膚科と形成外科という2つの科で一診療科を構成しています。両診療科は共通した疾患を取り扱うことが多く、診療に関する情報を相互共有しやすくすることで、よりクオリティの高い医療を目指しています。
- ・皮膚科、形成外科ともに、すべて専門医が診療します。
- ・当院形成外科では、特に眼瞼下垂症、下肢静脈瘤の診療に力を入れています。なお、すべての診療は下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による指導医が行います。

『スタッフ』

形成外科部長： 月野暁彦 (形成外科専門医・血管内焼灼術指導医・皮膚腫瘍外科指導医)

皮膚科(非常勤)：谷口彰治 (皮膚科専門医)

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
皮膚科	谷口彰治		谷口彰治		谷口彰治		月野暁彦 【皮膚・形成外科】		谷口彰治 ※14:30まで受付	谷口彰治	月野暁彦 【皮膚・形成外科】 (第2週)
形成外科			月野暁彦	月野暁彦 ※予約制					月野暁彦	月野暁彦 ※予約制	
		OP			OP	OP		OP			

『2021年の目標』

当科では、安全で確実な治療を専門医が行うというスタンスで診療しております。

形成外科では、診療の主体である、眼瞼下垂と下肢静脈瘤の症例を増やしていきたいと考えております。

2. 診療実績

年 (1月～12月集計)	2019	2020
外来患者延数	6,834	4,971
初診患者延数	1,224	849
入院患者延数 (退院患者含む)	711	453

年 (1月～12月集計)	2019	2020
手術件数 入院	194	135
外来	260	171
眼瞼下垂手術	116	88
下肢静脈瘤手術	41	32
皮膚皮下腫瘍摘出術	203	124

3. 業績

1. 谷口彰治 尋常性乾癬セミナー 2019.06.24 (協和キリン主催)
2. 谷口彰治 爪白癬の治療セミナー 2020.01.22 (科研製薬主催)
3. 谷口彰治 尋常性乾癬セミナー 2020.11.11 (協和キリン主催)

泌尿器科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

都心に位置する事から、女性泌尿器科を含めてすべての泌尿器科領域の疾患に対して、外来治療を含めて低侵襲治療を行っている。外来での結石破碎治療や、当日入院での尿失禁手術、術後 1 週間で退院できる。前立腺癌のロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術などを積極的に行っている。

『スタッフ』

部長 関井 謙一郎 副部長 鯉田 容平 医長 惣田 哲治

『診療日程』

各曜日午前中は 1~2 診で外来診療を行い、月・水・金の午後には女性専用のウロギネセンターを、金の午後には男性の専門外来（ED・精索静脈瘤・不妊）を開設している。

	室	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
泌尿器科	1	関井謙一郎	関井謙一郎 (前立腺) ※予約制	今中岳洋		関井謙一郎		交代		鯉田容平	関井謙一郎 (結石) ※予約制	交代
	2	惣田哲次				鯉田容平				惣田哲次		
	3										交代 (精索静脈瘤・性功能) ※予約制	
			EX	OP	OP		OP	OP	OP	OP	EX	
ウロギネセンター			交代 ※予約制				関井謙一郎 ※予約制				鯉田容平 ※予約制	

『2021年の目標』

当院のダヴィンチ・ホルミウムレーザー、陽子線センターの陽子線治療、暁明館病院のグリーンレーザーと前立腺に対してのすべての治療が可能であり、協力して前立腺センターを立ち上げて地域貢献を予定している。

2. 診療実績

外来・入院実績は表に示すように、2020年度は COVID-19 の影響で 2019年に比して低い結果であった（表 1）。これにより手術実績も 2020年度は低下した（表 2）。

泌尿器科は高齢者が多く、COVID-19 で市民検診が中止されていたことや、前立腺癌は進行が遅いことなどもあり、受診が控えられたことが影響した。

2021年は高齢者が優先的にワクチン接種を受けることで、受診控えも改善すると推定され、2019年程度まで回復すると考えている。

（表 1）

	外来新患者数	1日平均外来患者数	入院件数	手術件数(ESWL含まず)	体外衝撃波碎石術(ESWL)
2019年度	961	46	433	259	21
2020年度	693	40	304	171	53

(表 2)

	内視鏡手術	腹腔鏡手術	ロボット手術 (前立腺癌手術)	女性泌尿器科手術 (骨盤臓器脱・尿失禁手術)	男性泌尿器科手術 (精索静脈瘤など)
2019年度	97	10	37	85	27
2020年度	59	15	22	46	14

3. 業績

【学会発表】

1. 関井謙一郎、種田建史、鯉田容平：大阪中央病院で施行した RARP での腹膜外アプローチ 135 例の検討：第 107 回日本泌尿器科学会総会；2019 年 4 月 18-21；愛知県名古屋市
2. 関井謙一郎、今中岳洋、鯉田容平：DVC bunting を施行した RARP225 例の検討：第 108 回日本泌尿器科学会総会；2020 年 12 月 22-24 日；兵庫県神戸市

【論文】

1. 種田建史、宇田尚史、上坂裕香、松岡庸洋、関井謙一郎：当院におけるロボット支援前立腺全摘術（RARP）での頭低位軽減の試み. 泌尿器外科 32：59-63.2019
2. 関井謙一郎、種田建史、鯉田容平：大阪中央病院で施行した RARP での腹膜外アプローチ 135 例の検討. 泌尿器外科 32：1293-1296.2019

【講演会・勉強会講師】

- 2019.3.16 都島区医師会
2019.4.13 ファイザー（株）
2019.11.16 キョーリン製薬
2020.12.5 薬剤師のための呼吸器・泌尿器疾患フォーラム（キッセイ薬品）

婦人科

1. 概要

『部署の方針と特徴』

当科は 2006 年より腹腔鏡下手術に特化した診療を開始し、現在まで 8000 例を超える腹腔鏡下手術を施行してきた。現在、良性疾患に対する手術を中心と診療をしており、対象となるものは子宮筋腫・子宮内膜症・子宮腺筋症・卵巣嚢腫・不妊症などである。一般的に婦人科良性疾患の診断はあまり難しくはないが、治療のための評価（手術を行う場合の難易度や子宮内膜症の重症度、癒着の有無など）は容易ではなく、MRI ゼリー法や経膈エコーによってダグラス窩病変に対しても術前に正確に評価することに努め、患者のライフスタイルや人生設計などを考慮しながら、治療法を検討し、手術をする場合には、その時期や術式、術後の薬物治療（不妊症の場合には術後の治療内容や計画）についても十分検討している。

腹腔鏡下手術は開腹手術に比べて腹腔内臓器や病変を拡大して観察することで細かな手術操作ができるところが大きく優れている。私たちは単に傷が小さいだけではなく、精細な操作による、より身体に優しい（出血が少なく、できるだけ術後癒着のない）手術を目指している。

『スタッフ』

松本貴 副院長兼婦人科部長（2006 年 4 月入職） 細川有美 婦人科医長（2019 年 4 月入職）
浅野正太（2020 年 4 月入職） 岩井夏実（2018 年 4 月入職） 楠元理恵（2021 年 4 月入職）
なお、清時毅典（2019 年 4 月～2020 年 3 月）は岡山大学の人事で香川労災病院へ異動した。

『診療日程』

	室	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
婦人科	1	岩井夏実		松本 貴 <small>(予約初診のみ)</small>		細川有美		交代		浅野正太		松本 貴 <small>(予約初診のみ)</small>
	2			細川有美 浅野正太 岩井夏実 楠元理恵	手術説明	楠元理恵			手術説明			交代 <small>(予約初診のみ)</small>
	3											松本 貴 <small>(予約初診のみ)</small>
		OP	OP			OP	OP	OP		OP	OP	

『2021年の目標』

これまで当科では年間 600 例を超える腹腔鏡下手術を行なってきたが、マンパワーの減少やコロナ禍の影響もあり、2020 年の手術は 380 件にとどまることになった。2021 年はさらに 2 度目、3 度目の緊急事態宣言が発出された。手術症例数はさらに減少の傾向があるが、当科では患者 QOL が最大になるよう一つ一つの手術を大切にしていって取り組んでいきたいと考えている。また、コロナ禍が落ち着いて、手術件数が増加していくときに備えて、スタッフの実力を蓄え、能力を最大限に活用できるよう学ぶ環境を整えていきたい。2020 年は当科主催のオンラインセミナーを 6 回開催し、毎回全国より 200 名を超える参加があり、また、オンラインでのビデオクリニック（手術指導）を行った。2021 年も同様の活動を続けていく予定である。

2. 診療実績

2019 年

外来患者数 8,426 人

初診患者数 957 人

入院患者数 5,347 人

2020 年

外来患者数 5,769 人

初診患者数 606 人

入院患者数 2,988 人

婦人科手術実績

		2019 年	2020 年
手術総数		645	378
腹腔鏡下子宮全摘術		307	164
	深部子宮内膜症を含む	73	26
腹腔鏡下子宮筋腫核出術		119	75
腹腔鏡下子宮附属器腫瘍摘出術	卵巣嚢腫核出術	148	89
	子宮附属器摘出術	46	30
腹腔鏡下卵管摘出術		18	13
腹腔鏡下子宮内膜症病巣切除術 (子宮全摘術を伴わないもの)		30	32

3. 業績

2019年

【学会】

1. 西田浩孝, 松本貴, 岩井夏実, 岡本和浩, 佐伯愛, 奥久人: ダグラス窩深部内膜症の術前診断に対する 経腔超音波断層法所見の検討: 第40回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会; 2019年1月19-20日; 東京都港区
2. 佐伯愛, 西田浩孝, 岩井夏実, 岡本和浩, 奥久人, 松本貴: ワークショップ1 若年子宮内膜症の診断と管理 閉経移行期・閉経後の子宮内膜症の取り扱い 「若年子宮内膜症および閉経期子宮内膜症診療のポイント QOL向上のために」: 第40回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会; 2019年1月19-20日; 東京都港区
3. 松本貴, 岩井夏実, 西田浩孝, 岡本和浩, 佐伯愛: MRI ゼリー法による子宮頸部筋腫に対する術前評価の有用性: 第41回日本産婦人科手術学会; 2019年2月2-3日; 東京都千代田区
4. 松本貴: ランチョンセミナー「TLHでの技術認定医取得から高難度症例拡大へのステップ」: 第71回日本産科婦人科学会学術講演会; 2019年4月11-15日; 愛知県名古屋市
5. 松本貴, 岩井夏実, 西田浩孝, 岡本和浩, 佐伯愛: MRI ゼリー法による子宮頸部筋腫に対する術前評価の有用性; 第71回日本産科婦人科学会学術講演会; 2019年4月11-15日; 愛知県名古屋市
6. 松本貴: ビデオセッション「The microsurgical TLH-ダグラス窩完全閉塞例に対する逆行性子宮全摘出-」; 第71回日本産科婦人科学会学術講演会; 2019年4月11-15日; 愛知県名古屋市
7. Hiroataka Nishida, Takashi Matsumoto: Prediction of pouch of Douglas obliteration in women with suspected giant uterine fibroids using a new real-time dynamic transvaginal ultrasound technique: the wave sign.: 5th Congress of the Society of Endometriosis and Uterine Disorders 2019; May 16-18, 2019; Montreal. Canada.
8. 松本貴: 教育セミナー「The radical microsurgical dissection for severe endometriosis -ダグラス窩閉塞と深部子宮内膜症に対する腹腔鏡下手術-」; 第140回近畿産婦人科学会; 2019年6月16日; 大阪府大阪市
9. 松本貴: ランチョンセミナー「安全を確保した腹腔鏡下手術の限界と挑戦」; 第32回日本小切開・鏡視外科学会; 2019年6月29日; 大阪府大阪市
10. 清時毅典, 西田浩孝, 岩井夏実, 細川有美, 佐伯愛, 松本貴: ドライボックスでの縫合結紮以外の練習方法 ~三次元的鉗子操作を身につけるために~: 第59回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019年9月12日-14日; 京都府京都市

11. 岡本和浩, 西田浩孝, 岩井夏実, 清時毅典, 細川有美, 佐伯愛, 松本貴: TLH における前方アプローチの要点: 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019 年 9 月 12 日-14 日; 京都府京都市
12. 西田浩孝, 岩井夏実, 清時毅典, 細川有美, 佐伯愛, 松本貴: 膜解剖理論に基づいた腹腔鏡下付属器切除術: 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019 年 9 月 12 日-14 日; 京都府京都市
13. 佐伯愛, 西田浩孝, 岩井夏実, 清時毅典, 細川有美, 松本貴: 自力で手術を組み立てるといことをいかに教育するか? -チェックリスト導入後の経過-: 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019 年 9 月 12 日-14 日; 京都府京都市
14. 佐伯愛, 西田浩孝, 岩井夏実, 清時毅典, 細川有美, 松本貴: 深部子宮内膜症を伴う症例に対する TLH -安全に行うためのポイント-: 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019 年 9 月 12 日-14 日; 京都府京都市
15. 細川有美, 松本貴, 西田浩孝, 岩井夏実, 清時毅典, 佐伯愛: スマートリトラクターを用いた腔式子宮回収方法の検討: 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019 年 9 月 12 日-14 日; 京都府京都市
16. 松本貴: ランチョンセミナー「TLH ～切開・剥離を追求する～」: 第 59 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会; 2019 年 9 月 12 日-14 日; 京都府京都市
17. 西田浩孝, 岩井夏実, 清時毅典, 細川有美, 松本貴: 直腸子宮内膜症の薬物療法に関する検討: 第 34 回日本女性医学会学術集会; 2019 年 11 月 2-3 日; 福岡県福岡市

【研究会】

1. 松本貴: 講演「後腹膜腔の骨盤解剖私が TLH をしているときに考えていること」: ラパロスコピストのための婦人科骨盤解剖勉強会; 2019 年 2 月 23 日; 大阪府大阪市
2. 松本貴: 特別講演「The microsurgical dissection—術者は何を観ているのか?—」: 第 16 回宮崎婦人科内視鏡研究会; 2019 年 3 月 23 日; 宮崎県宮崎市
3. 松本貴: 特別講演「The microsurgical dissection for TLH—子宮周囲はどうなっているのか?—」: 愛知婦人科内視鏡手術勉強会 2019～安全に TLH を行う知識・技術を知る～; 2019 年 5 月 11 日; 愛知県名古屋市
4. 松本貴: 講演「子宮筋腫に対する腹腔鏡下手術」: 第 9 回大阪女性医学懇話会; 2019 年 5 月 18 日; 大阪府大阪市
5. 松本貴: 特別講演「～鉗子, パワーソースの選び方・使い方～」: とちぎ産婦人科内視鏡研修会; 2019 年 5 月 31 日; 栃木県宇都宮市
6. 松本貴: 特別講演「The radical microsurgical dissection—術者が観ている子宮周囲の解剖学的構造—」: 北海道子宮内膜症・子宮腺筋症セミナー; 2019 年 6 月 15 日; 北海道札幌市

7. 松本貴：特別講演「The radical microsurgical dissection for severe endometriosis」：
第8回大阪内分泌診療研究会；2019年9月7日；大阪府大阪市

8. 松本貴：特別講演「The microsurgical dissection - 子宮周囲の解剖学的構造はどうなっているのか? -」：第18回山陰産科婦人科内視鏡研究会；2019年10月12日；鳥取県米子市

【論文】

1. 佐伯愛, 西田 浩孝, 岩井 夏実, 岡本 和浩, 奥 久人, 松本 貴：若年子宮内膜症の診断と管理 閉経移行期・閉経後の子宮内膜症の取り扱い 若年子宮内膜症および閉経期子宮内膜症診療のポイント QOL向上のために. 日エンドメトリオーシス会誌, 40, 82-6, 2019
2. 西田 浩孝, 松本 貴, 岩井 夏実, 岡本 和浩, 佐伯 愛, 奥 久人：ダグラス窩閉塞の予測における経膈超音波検査による wave sign の有用性. 日エンドメトリオーシス会誌, 40, 169-71, 2019
3. 松本 貴：【広がる子宮内膜症の世界】症状・関連疾患と最新治療 子宮内膜症に対する手術はなぜ難しいのか 解剖学的構造の変化を考える, 産と婦, 86, 835-42, 2019
4. 松本 貴, 市村 友季：Q&A 筋腫に内膜症を合併した高度癒着例に対する腹腔鏡下子宮全摘術のポイントとコツは? ダグラス窩閉塞に対するアプローチが重要である, 日本医事新報, 4947, 62-63, 2019

2020年

【学会】

1. 岩井 夏実, 佐伯 愛, 西田 浩孝, 清時 毅典, 細川 有美, 奥 久人, 松本 貴：腹腔鏡下卵巣子宮内膜症性嚢胞摘出術における液性剥離法 ~よりよい手技の追求~：第41回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会；2020年1月18-19日；山口県下関市
2. 松本 貴, 岩井 夏実, 西田 浩孝, 清時 毅典, 細川 有美：ロボット支援深部子宮内膜症切除の可能性を考える：第42回日本産婦人科手術学会；2020年2月22-23日；京都府京都市
3. 細川 有美, 松本 貴, 西田 浩孝, 清時 毅典, 岩井 夏実：腹腔鏡下子宮全摘術におけるスマートリトラクターを用いた膈式子宮回収方法についての検討：第72回日本産科婦人科学会学術講演会；2020年4月23-28日；Web開催
4. 岩井 夏実, 佐伯 愛, 西田 浩孝, 清時 毅典, 細川 有美, 松本 貴：当院における鼠径部子宮内膜症の管理：第72回日本産科婦人科学会学術講演会；2020年4月23-28日；Web開催
5. 松本貴, 岩井夏実, 清時毅典, 浅野正太, 細川有美：ワークショップ5 多様化する子宮全摘「The microsurgical TLH -腹腔鏡で明らかになった子宮周囲の筋膜構造について-」；第43回日本産婦人科手術学会；2020年11月9-23日；Web開催
6. 松本 貴, 岩井 夏実, 清時 毅典, 浅野 正太, 細川 有美：シンポジウム10 難症例子宮筋腫手術の技「巨大子宮筋腫の In bag morcellation」；日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会；2020年12月14-28日；Web開催

7. 清時 毅典、岩井 夏実、浅野 正太、細川 有美、松本 貴：TLHにおける解剖を理解した膀胱剥離；日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会；2020年12月14-28日；Web開催
8. 細川 有美、松本 貴、浅野 正太、清時 毅典、岩井 夏実：肥満、低身長症例の巨大子宮筋腫に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出手術における気腹法と皮下鋼線吊り上げ法の併用の有用性；日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会；2020年12月14-28日；Web開催
9. 中山 朋子、松本 貴、小高 晃嗣、水谷 靖司：腸管子宮内膜症治療における外科との連携の実際；日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会；2020年12月14-28日；Web開催

【研究会】

1. 松本貴：特別講演『境界線を見極める』－腹腔鏡で分かる子宮とその周囲の解剖学的構造－；泉州産婦人科医会総会講演会；2020年1月25日；大阪府堺市

【講演会】

1. 松本貴：境界線を見極める -The microsurgical dissection for Total Laparoscopic Hysterectomy -；2020年7月3日；Web講演（ジョンソン・エンド・ジョンソン主催）
2. 松本貴：手術映像供覧「子宮内膜症に対するTLH」「ハーモニックHDのより良い使い方」；婦人科腹腔鏡下教育セミナー ～学び方、教え方を見つめなおす～；2020年12月12日；Web講演（ジョンソン・エンド・ジョンソン主催）

【司会】

1. 松本貴：婦人科腹腔鏡下教育セミナー ～学び方、教え方を見つめなおす～；2020年12月12日；Web講演（ジョンソン・エンド・ジョンソン主催）

【講演会（当院主催）】

1. 第1回オンライン西梅田婦人科ラパロセミナー（テーマ：FUSEセミナー），2020年5月7日，Zoomミーティング（参加者約80名）
2. 第2回オンライン西梅田婦人科ラパロセミナー（テーマ：Myoma pseudocapsuleを考える），2020年6月13日，Zoomミーティング（参加者約180名）
3. 第3回オンライン西梅田婦人科ラパロセミナー（テーマ：卵巣に優しい嚢腫核出術），2020年8月22日，Zoomミーティング（参加者約220名）
4. 第4回オンライン西梅田婦人科ラパロセミナー（テーマ：大阪中央病院のTLH（序盤～中盤）），2020年9月26日，Zoomミーティング（参加者約260名）
5. 第5回オンライン西梅田婦人科ラパロセミナー（テーマ：子宮内膜症と周産期予後），2020年10月17日，Zoomミーティング（参加者約220名）
6. 第6回オンライン西梅田婦人科ラパロセミナー（テーマ：術野の展開・操作空間の確保），2020年12月26日，Zoomミーティング（参加者約120名）

【著書】

1. 松本貴：低侵襲手術におけるテクニック「開腹手術とどこが違うか？①」．万代昌紀（監修）：OGS NOW basic 2 いきなりTLH．メジカルビュー，pp40-5，2020
2. 松本貴：後腹膜の展開と，尿管・子宮動脈の同定-バリエーションと解説「後方アプローチ」．万代昌紀（監修）：OGS NOW basic 2 いきなりTLH．メジカルビュー，pp124-9，2020

眼科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

地域の病診連携に於いて緊急手術および入院の要請に確実に応えられるようにしている。

これまで当院健康管理センター施行の一般・特殊健診での年間2万5千人超分の両眼眼底写真の読影、色覚検査の判定などを眼科スタッフで行っていたが、2020年度から大阪大学眼科医局による医師派遣が実現した。電離放射線健診における水晶体検査は引き続き眼科スタッフで施行している。眼底写真や水晶体検査の読影判定結果の健康管理センターシステム入力チェックは引き続き眼科スタッフで行っている。

『スタッフ』

医師 常勤 井上由美子

非常勤 長谷川琢也 中川里砂 山田早紀 塚本裕次 片上千加子 塚本浩子

視能訓練士 常勤 森田亜紀子 蔵重聡美

非常勤 月1名 火2名 水1名 木1名 金2名

『診療日程』

	室	月		火		水		木		金		土
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
眼科	1			井上由美子 ※予約制	井上由美子	山田早紀 ※予約制	塚本浩子 (第1・3週) 塚本裕次 (第2・4・5週)	井上由美子 ※予約制	井上由美子	井上由美子 ※予約制	井上由美子 ※予約制 (第2・4週休診)	井上由美子 (第2・4週)
	2	中川里砂	中川里砂			片上千加子				中川里砂	中川里砂	
	3			長谷川琢也 (網膜硝子体外来) ※予約制	長谷川琢也 (網膜硝子体外来) ※予約制					長谷川琢也 (網膜硝子体外来) ※予約制		
			OP			OP	EX		EX		EX	

『2021年の目標』

引き続き外来に毎日医療クラークの配置を要望していく。

アフターコロナを見据えて手術増患につとめる。

2. 診療実績

2019年(1~12月)

外来患者数 9,040 人 初診患者数 934 人

入院患者数 1,395 人

手術 水晶体再建術 360 件 硝子体茎頭微鏡下離断術 123 件

2020年(1~12月)

外来患者数 7,900 人 初診患者数 917 人

入院患者数 1,012 人

手術 水晶体再建術 265 件 硝子体茎頭微鏡下離断術 88 件

3. 業績

【講演会】

興和株式会社 社員教育研修会 2020年10月27日 大阪府大阪市

耳鼻咽喉科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当院耳鼻咽喉科では紹介状なしでも診察時間内であれば受診されたすべての患者さんを診察するよう心がけています。頭頸部・咽喉頭・鼻腔領域では、血液検査、ファイバー検査、CT検査、MRI検査、超音波検査などで腫瘍、感染疾患に対して対応しています。内耳領域では、聴力検査、ティンパノメトリー、重心動揺検査、ENG検査、vHIT、前庭誘発筋電位（VEMP）、シェロング試験、CT検査、MRI検査（内耳造影MRIは協力病院にて施行可能）など大学病院にも劣らない設備で内耳疾患に対して精査をすることができます。耳分野は近畿大学耳鼻咽喉科主任教授 土井 勝美先生が非常勤医師として手術と外来診察に来ていただいております。充実した体制を構築しています。

『スタッフ』

常勤医1名（白石 功）、非常勤医師2名（大和田 聡子、土井 勝美）で日々の診療に携わっています。常勤医である白石 功は2021年4月より近畿大学病院耳鼻咽喉科教室から赴任してきました。

『診療日程』

	月	火	水	木	金	土
午前	休診	白石功	白石功	白石功	白石功	第2週 白石功
				土井勝美	大和田 聡子	
午後	休診	白石功	補聴器	手術 (土井勝美)	白石功	休診
					補聴器	

『2021年の目標』

新たに『めまい入院』を開始し、2泊3日でめまいの原因精査、今後の治療方針、前庭リハビリテーションまでを短期間で行う取り組みを始めました。内耳性だけではなく自律神経、頸性めまい、甲状腺疾患、貧血、ホルモン、精神的などふらつきの原因を全身精査し今後の治療につなげることを目標としています。

地域の病院の皆様と協力して病気に苦しむ患者さんに対して丁寧な診療を心がけていこうと常に意識しています。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

2. 実績

年間手術件数 2020年度

真珠腫性中耳炎 12例、耳硬化症 5例、慢性中耳炎 5例、外耳道閉鎖症 1例

放射線科

1. 概要

『部署の方針と特徴』

当科は放射線検査部門の一翼を担う事を自覚しつつ、最小限の侵襲で最大限の医療情報の提供を目指しています。医療機器の適切なメンテナンスや運用はもとより、教育や検査内容の充実などにも留意しております。被ばくに関しても線量低減の意識を常にもち、患者様には優しく、かつ臨床に耐えられる医療情報の提供を責務と考え努めてまいります。また、今後は地域医療に少しでも貢献できるよう、今まで以上に御要望には対応させて頂き、地域医療の一翼を担う所存です。

『スタッフ』

放射線科部長 森田 吉多佳（日本専門医機構 放射線科専門医、
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
リザーバー&ポート研究会 世話人）

放射線技師 18名

『2021年の目標』

本年度は特に地域連携を第一に考え、CT、MRI等の紹介に関しては出来る限る柔軟に対応して積極的に受け入れていく。地域医療を担う医療機関様からの要望には最大限対応しつつ、患者様には優しく、かつ臨床情報は最大限に提供できるよう様な体制を目指します。

また、各種装置の更新とメンテナンスを行っていき、装置に関する施設認定等の更新に関してもつつがなく行っていく。各種検査に関しては予約等についても出来る限り柔軟な運用を心掛け、それにより検査件数の増加を図りたい。

2. 診療実績

(診療部門検査件数)		
	2019年度	2020年度
一般撮影	9,393	8,126
CT	3,421	3,280
MRI	2,801	2,177
マンモグラフィー	369	354
透視検査	448	375
骨密度	470	364
カテーテル検査	695	602

(健診部門検査件数)		
	2019年度	2020年度
一般撮影 (胸部)	69,753	59,663
CT	920	751
MRI	894	739
マンモグラフィー	7,955	6,858
透視検査 (胃透視)	21,386	18,153
骨密度	1,242	978

3. 業績

(認定資格者)

日本専門医機構認定放射線科専門医 1名

マンモグラフィー技師認定者 7名、

X線 CT 撮影技師認定者 6名

日本消化器がん検診学会胃がん検診専門技師認定者 3名

胃 X線読影補助認定技師 2名

胃がん検診読影部門 B 資格認定者 2名

胸部肺がん健診認定者 1名

血管造影 (IVR) 技師認定者 1名、

救急撮影認定技師者 1名

(施設基準)

画像診断加算 2 取得施設

(論文)

Oncology 2020;98(5):267-272.

Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy of 5-Fluorouracil for Patients with Unresectable Liver Metastases from Colorectal Cancer Refractory to Standard Systemic Chemotherapy: A Multicenter Retrospective Study

Yozo Sato¹, Yoshitaka Inaba², Takeshi Aramaki³, Miyuki Sone⁴, Yoshitaka Morita⁵, Hideyuki Nishiofuku⁶, Toshihiro Tanaka⁶, Masaya Miyazaki⁷, Kiyoshi Matsueda⁸, Yasuaki Arai⁴

麻酔科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当科の方針は、手術患者の術前評価を的確に行い、麻酔合併症を起こさないことです。

そのために、1階入退院センターに麻酔科術前外来を設け、手術が決まった患者様は、手術までの期間でできるだけ早く麻酔科医師の診察を受けていただいています。そのうえで、患者様に一番適した麻酔法、術式を計画しています。

手術室には、腹腔鏡に適した人工呼吸のできる最新の麻酔器を導入しています。また、副作用のない痛くない麻酔を目指しています。

『スタッフ』

麻酔科部長 早助弓子 日本専門医機構認定麻酔科専門医 日本麻酔科学会指導医

麻酔科主任 朝倉芳美 日本麻酔科学会専門医

麻酔科主任 春日千春 日本麻酔科学会専門医 日本麻酔学会指導医

『診療日程』

麻酔科外来 月午後、火午後、金午後、土午前 交代制

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	第2・4週 午前
麻酔科 (術前外来)		早助弓子 朝倉芳美 春日千春 交代		交代						交代	交代

『2021年の目標』

当院は1床あたりの手術数が非常に多く、全身麻酔数も多いため、限られた人数の麻酔科医で対応するのは大変ですが、各科からの麻酔依頼にこたえられるように、質・量ともに両立させた麻酔管理を提供することが目標です。

2. 診療実績

2019年 麻酔科管理手術数 総数 1,145件

内訳 婦人科 654件、外科 202件、整形外科 137件、泌尿器科 136件

2020年 麻酔科管理手術数 総数 810件

内訳 婦人科 378件、外科 188件、整形外科 150件、泌尿器科 79件

2020年10月より、麻酔科外来での術前診察開始し、全例にて麻酔科術前診察を行うことができた。

リハビリテーション科

1. 概要

『部署の方針と特徴』

当科は、整形外科の膝・股関節の術後（関節鏡、人工関節置換術など）リハビリテーションを中心に行っている。人工関節置換術後のリハビリテーションでは、2020年からロボットリハビリテーション（Honda 歩行アシスト）を導入し、安定した歩行能力の早期獲得を目指している。また、患者さんの動作パフォーマンスの向上やスポーツ復帰を希望される方への運動指導として、個々の競技特性に応じた各種トレーニングやピラティス専用器具を使用した運動療法も行っている。

『スタッフ』

リハビリテーション科部長 坪田 次郎 理学療法士 4名（主任 平野 弘臣）

『2021年の目標』

リハビリテーション技術の研鑽と接遇力を強化し、患者満足度の向上に努めること、他職種連携を強化することで、医療事故防止に努め、安心して安全なリハビリテーションの環境づくりを行うこととしている。

『施設基準認定』

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）

2. 診療実績

リハビリ実施患者実人数（外来・入院）、リハビリ実施件数（外来・入院）

外来患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	85	106	104	101	78	86	98	79	77	83	70	84	1,051
2020年	58	49	70	67	62	78	98	80	73	75	76	87	873

入院患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	318	280	438	473	329	300	365	431	425	282	356	461	4,458
2020年	465	314	395	385	242	323	397	325	478	342	315	363	4,344

外来患者件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	85	106	104	101	78	86	99	82	77	83	70	84	1,055
2020年	58	49	70	67	62	78	98	80	73	75	76	88	874

入院患者件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年	502	417	600	648	454	449	574	564	608	423	531	667	6,437
2020年	660	460	576	599	393	485	588	472	655	492	466	578	6,424

3. 業績 その他の活動

学会発表、刊行論文なし

院内職員向けの福利厚生として「健康増進運動教室開催（ピラティスなど）」

2014年2月～2020年3月まで（現在、新型コロナウイルス感染予防のため休止中）

薬剤部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

「医療の担い手として生命を尊重し、患者様の安全と安心に貢献し、適切な薬物治療を提供します。」を薬剤部の理念とし、業務に取り組んでいる。薬剤管理指導業務は投薬のある入院患者様に対し実施率ほぼ100%を維持してきた。2月に電子カルテ導入となり、それに伴い化学療法レジメン運営委員会を立ち上げ現在レジメン数は130となっている。同時に持参薬鑑別・薬剤管理業務も別システムから電子カルテ業務に変更となる。調剤支援システムも更新し、2020年度は薬剤部内の全体業務を大きく見直す年となった。

『スタッフ』

薬剤師 8名 ・ 事務員 1名

『2021年の目標』

薬剤部理念に基づき、チーム医療の一員として薬物治療に貢献していく。

2. 診療実績

処方箋枚数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来院外	4,795	4,282	5,268	5,046	4,642	4,920	5,230	4,727	5,145	4,949	4,085	5,502	58,591
外来院内	8	11	6	10	11	8	11	6	14	13	4	8	110
外来注射	408	363	376	444	397	974	428	384	418	401	259	329	4,581
入院処方	1,522	1,119	1,463	1,397	1,251	1,311	1,587	1,353	1,467	1,244	1,821	2,186	17,714
入院注射	915	815	1,021	1,113	1,019	1,050	1,110	926	1,042	1,001	698	812	11,522

薬剤管理指導算定件数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
指導件数	510	354	478	484	451	455	513	479	519	420	429	523	5,620

無菌調剤件数

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗癌剤	17	16	27	35	22	26	17	25	27	22	16	18	268
その他	9	12	3	11	3	8	4	7	10	6	8	10	83

3. 業績

鶴岡早央里, 長田志織, 竹内千里, 片山弥生, 岡田美織, 武内真有, 明神真希子, 山本香名, 南雄三, 美内雅之: 糖尿病治療薬剤の投与状況からみた **Clinical inertia**~その後の観察検討 (約4年間) ~第63回日本糖尿病学会年次学術集会; 2020年10月5日-16日; WEB開催

中央検査部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

部門のモットーは「正確な検査結果を迅速に提供する」。

病理検査室は非常勤医師 3 名が在籍しており、シフトを組んで診断業務を実施していただいている。病理医不在時の術中迅速診断は大阪ブレストクリニックと契約した体制となっている。

検体検査室の運営はエスアールエルとの FMS 契約（5 年間）を再締結して、免疫化学発光分析装置 2 台を更新した。自主運営として新型コロナウイルス検査については迅速診断キット検査に加え、2021 年 1 月に NEAR 法検査機器を導入して入院時スクリーニング検査を開始した。病理検査室においては、密閉式自動固定包埋装置 1 台、生物顕微鏡 LED 型 1 台を更新した。4 階生理検査室では超音波による肝硬度測定を開始した。

『スタッフ』

部長 高島周志 技師長 坂東雅彦

常勤医師 1 名 非常勤医師 3 名 正職員技師 30 名 準職員技師 7 名 嘱託職員技師 1 名
派遣職員技師 2 名

『2021 年の目標』

2021 年も引き続き「正確な検査結果を迅速に提供する」を念頭において業務を遂行したい。

2. 検査実績

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響があり、すべての検査件数は減少した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生化学	60,211	46,965	135,614	134,344	132,367	140,309	157,067	140,820	146,802	139,419	126,999	136,440	1,497,357
血液	6,077	4,650	12,756	12,916	12,412	13,237	14,983	13,285	13,528	13,116	12,037	13,384	142,381
一般	5,190	2,694	16,554	17,087	17,508	19,100	21,505	19,267	20,045	18,146	17,891	18,305	193,292
免疫血清	3,212	1,486	8,077	8,772	8,803	8,658	9,446	8,756	8,577	8,590	8,603	10,826	93,806
細胞診	263	76	977	1,267	1,332	1,352	1,483	1,354	1,392	1,311	1,246	1,589	13,642
組織診	188	129	138	204	164	168	231	201	182	198	167	238	2,208
超音波（腹部）	611	109	2,536	2,744	2,561	2,658	2,937	2,684	2,809	2,623	2,450	2,608	27,330
超音波（心臓）	197	178	245	239	199	241	285	293	311	298	218	345	3,049
超音波（その他）	555	335	1,293	1,431	1,567	1,618	1,818	1,556	1,664	1,496	1,433	1,846	16,612
呼吸機能	370	58	1,356	1,364	1,372	1,556	1,704	1,508	1,549	1,431	1,412	1,765	15,445
心電図	1,502	522	5,797	5,946	6,228	6,843	7,777	6,879	7,184	6,742	6,376	5,961	67,757
トレッドミル	112	81	146	129	90	139	156	124	151	157	104	151	1,540
ホルター心電図	17	22	34	21	24	14	35	28	37	27	23	42	324
血圧脈波・内圧	37	18	20	24	19	12	32	21	35	38	38	56	350

3. 業績

【所属技師の認定資格取得状況】※重複取得あり

超音波検査士 12 名 認定輸血検査技師 1 名 緊急臨床検査士 8 名

認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師 1 名 認定血液検査技師 1 名

二級臨床検査士 9 名（領域：循環生理学・免疫血清学・血液学・臨床化学・病理学）

国際細胞検査士 3 名

臨床工学部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

臨床工学部は、2018年4月より独立し新設された。技術の向上に励み、他職種との連携を深めチーム医療に貢献し、より質の良い医療を患者様・スタッフに提供することを目標に様々な臨床行に携わっている。

『スタッフ』

部長 早助弓子（麻酔科部長・手術部部長） 臨床工学技士 3名

2. 診療実績

血管造影業務

心臓カテーテル検査・治療、心臓ペースメーカーの植え込み、経皮的カテーテル心筋焼灼術など関連機器の操作、使用材料の管理を行っている。

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG	21	4	27	22	18	22	23	21	18	16	17	24	233
PCI	9	7	19	24	18	19	27	21	27	20	22	19	232
PTA	2	1	1	5	2	1	2	0	2	2	1	4	23
ABL	8	6	8	8	6	8	10	8	8	8	6	7	91
PMI	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	6
他	2	1	1	2	2	0	3	1	1	1	2	1	17
PM 外来	15	19	15	10	8	9	22	20	13	10	4	18	163

血液浄化業務

血液透析、血漿交換、LDLアフェレーシス、血液吸着、他特殊浄化を行っている。

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD	0	7	3	5	3	4	10	6	1	2	5	5	51
DFPP	5	6	5	5	4	5	6	6	5	5	4	5	61
LDL-A	23	22	23	24	22	24	23	23	26	26	23	24	283
他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

手術室業務

手術支援ロボット

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Davinci	1	1	1	0	1	2	2	0	2	2	1	1	14
MAKO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	11	16

医療機器管理業務

院内の様々な医療機器の保守・修理・点検を行い安全に使用できるよう管理運営している。

輸液ポンプ・シリンジポンプ・セントラルモニター・ベッドサイドモニター・パルスオキシメーター・PCPS・IABP・IVUS など。

栄養部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

入院患者に対して正しく栄養評価を行い適切な栄養サポートを実践し、栄養指導においては患者個人に見合った食事指導を展開し合併症の進展防止や重症化予防につながるよう取り組んでいる。

『スタッフ』

栄養部長 美内雅之 管理栄養士 3名(糖尿病療養指導士 2名、病態栄養専門管理栄養士 1名)

給食委託会社スタッフ(管理栄養士 3名、栄養士 1名、調理師 3名、調理作業員 12名)

『2021年の目標』

栄養介入が必要な患者に対して他職種と共同して栄養管理を行い、栄養介入で得られた結果を分析し日々の栄養管理、栄養指導業務に反映させるとともに入院食事内容の充実化を図る。

2. 診療実績

2020年度栄養指導実績

(単位：件)

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	65	40	76	84	63	65	91	72	83	64	62	71	836
外来	93	68	94	88	80	90	99	101	105	111	80	137	1146
集団指導	4	3	2	7	4	3	5	0	4	4	4	0	40

2020年度特食加算

(単位：%)

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特食加算	35	31	35	39	35	48	47	47	50	44	41	43	495

3. 業績

学会発表

1. 片山弥生、岡田美織、武内真有、山木香名、明神真希子、南 雄三、美内雅之
糖尿病患者における食事内容と体組成との関連性の検討、第23回日本病態栄養学会年次学術集会、2020年1月24日～1月26日、京都府京都市
2. 片山弥生、岡田美織、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、山木香名、明神真希子、武内真有、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之、摂取栄養素の変化と臨床データとの関連性の検討
第63回日本糖尿病学会年次学術集会、2020年10月5日～16日、WEB開催

看護局

1. 概要

『部署の方針と特徴』

看護局の理念は「共にあゆむ最善の看護」で個別性を大切にチーム医療を推進し、自己研鑽と意識改革を基本方針として、健診における予防から治療に至るまで受診者様や患者様を取り巻くすべての人々と協働し、看護の力が最大限に発揮できるよう取り組んでいます。

『スタッフ構成』 看護師（准看護師含む）

病棟：67名 外来その他：75名（準職員・産休・育休含む）

平均年齢：38.6歳 平均在職年数：7.4年 離職率：11%

看護補助者：12名 内視鏡洗浄員：7名 手術室・中材滅菌洗浄員：5名

『看護体制』

急性期一般入院料1（7：1）重症度、医療・看護必要度Ⅱ 2020年8月～

2交替制（病棟）固定チームナーシング継続受け持ち制

看護職員夜間配置加算（12対1加算1）2020年10月～

3人夜勤（全日）+遅出 夜勤専従体制

25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割未満）

認知症ケア加算3 2021年2月～

『看護実践面』

新型コロナウイルス感染防止対策（入口での健康チェック・有症状外来）

看護師のキャリアラダー作成・評価、看護補助者の業務評価表作成・評価

LDLアフェレーシスの11階病棟看護師による血管確保

健診内視鏡洗浄・リネン類取扱い・手術室/中材滅菌洗浄業務の内製化

『看護関連物品』

手術室・検査室看護師ユニフォーム更新

病棟ダイルールの給湯器交換・公衆電話機撤去（10F・12F）

医療廃棄物容器変更（ペダル導入）・入院セットのレンタル導入

病棟床頭台更新に伴う月額定額料金システムの導入

『2021年の目標』

1. 急性期一般入院料1、看護職員夜間配置加算12対1の維持

電子カルテ移行後の業務が的確にできる

2. 患者や家族にとって安心安全な環境を提供する

3. 認知症ケアを看護に活かす、次世代の人材育成、中途採用者の教育

4. 入退院支援加算2、入院時支援加算2の取得

病床稼働率の上昇 セン妄ハイリスク患者ケア加算の取得

看護必要度（%）

2020年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10階病棟	33.5	33.7	29.4	31.8	39.2	40.6	35.2	36.4	30.5	31.7	41.2	48.6
11階病棟	31.2	25.3	32.1	25.8	39.2	30.8	33.5	25.7	26.4	31.2	22.4	26.4
12階病棟	58.7	63.2	56.2	59.3	58.2	58.8	56.9	62.8	61.9	59.5	57.7	67.2
3病棟合計	42.2	41.2	38.9	38.4	45.8	42.5	41.2	41.2	38.2	40.4	40.1	46.3

2. 委員会活動実績

	目標	実績
教育委員会	1. 看護師のラダーに応じた院内教育研修を企画・運営する。	新型コロナの影響で中止となった研修もあるが、自己学習や事前eラーニング視聴で対応できた。
	2. 継続教育の考え方を知り、教育委員の役割について理解する。	配信の総アクセス率84.3%、アンケート結果で理解度は80%以上。研修準備マニュアル改訂。
安全推進委員会	1. インシデントレポートを共有し、改善策を検討する。	各部署インシデントレポート報告と、3ヵ月毎のクロス集計結果を分析した。事例はRCA分析
	2. 院内ラウンドを行い各部署の取り組みや5S状況を確認する。	KYT4ラウンド法で分析した。5Sラウンドを4回実施。緊急時院内召集と院内非常事態発生
	3. 最新の医療安全の知識を深め、委員会活動の実践に活かす。	時の対応を見直した。「医療安全教育」抄読会及び毎月勉強会を実施し新しい情報を共有した。
記録委員会	1. 記録監査能力を高め、看護の質の向上につながる記録ができる。	毎月各部署の監査結果の報告を行い、課題を検討した。標準看護計画の洗い出しと、リスト
	2. 標準看護計画を共有し、活用できる。また内容の充実を図る。	を作成し、電子カルテ導入時に評価しやすい表現に変更した。サマリーのフォーマットを検
	3. 看護サマリーの評価	討し、外来診察時に分かるシステムを導入した。
リンクナース会	1. 感染対策部委員会と協働して、院内の感染防止の推進を図る。	ICTメンバーと環境ラウンド（年6回）実施。手洗いチェッカーによる手指衛生の啓発。
	2. 感染防止対策の知識を深め、職員への啓発活動を継続して行う。	PPE着脱の院内研修実施。COVIT-19マニュアル・発症時のゾーン別マップ、職員行動フロー作成。
実習指導者会	1. 部署内の指導者と知識の共有ができ、指導環境を整える。	新型コロナの影響で大阪医専基礎Ⅰ・Ⅱを縮小して1回づつ実施。教員との事前打ち合わせで
	2. 実習指導担当者と互いに成長できる関わりをもつことができる。	感染対策を詳細に確認し協力して実践できた。初めての实習指導担当スタッフへの支援。
主任会	1. 改訂後の退院支援システムを実施し、外来と病棟の連携を図る。	「在宅療養支援フローチャート」を作成した。スクリーニングシートと計画書を簡潔化した。
	2. 院内での防災対策を浸透させ、災害時迅速に初期対応ができる。	各部署で防災訓練を実施し、備蓄物品の種類・設置場所をリスト化しマニュアルに追加した。
	3. 電子カルテ導入に関する事項の検討を行う。	電子カルテ導入に伴い、必要な内容を共有し検討した。
看護補助者会	1. 看護補助者間で連携し、問題を協力して解決できる。	寝具類の内製化、スマイルセット導入ができた。病棟の1日スケジュール・配茶・清拭タオル・
	2. 看護チームの一員として役割と業務について知識を深め、安全な業務が実践できる。	清拭車マニュアルを改訂した。看護師と補助者の業務範囲の確認ができた。予定した年9回の研修を全員が受講できた。

3. 臨地実習指導実績

大阪医専看護専門学校	期間	人数	総人数	実習指導者数	
基礎看護学実習Ⅱ：2年生	11/9～11/19（8日間）	15名	27名	22名	左記人数の内 講習終了者10名
基礎看護学実習Ⅰ：1年生	11/27・11/28（2日間）	12名			

健康管理センター

1. 概要

『当センターの方針と特徴』

受診者数は総受診数で毎年 1.5%前後の増加を続けており、2019 年度には総受診者数 73,800 人、そのうち人間ドック(半日ドック)受診者数 14,400 人に達したが、2020 年度は新型コロナウイルス蔓延による全国的な受診控えおよび緊急事態宣言発出に伴う厚生労働省や関連学会・団体の勧告に従い 4 月上旬から 5 月末まで約 1 ヶ月半健診業務を休止したことで総受診者数 62,900 人、そのうち人間ドック受診者数 12,700 人となった。2020 年 6 月の業務再開後は健診関連 8 団体から出された「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」のガイドラインを遵守しながら健康診断・保健指導を実施している。

当センターは急性期総合病院併設型の健診施設で計 3 フロアから構成され、受診当日に結果説明・保健指導を実施する人間ドック(半日ドック)を 6F・8F で、当日の結果説明の実施はないが必要な方に対して保健指導が行われる一般健診を 8F・9F で行っている。

2000 年以降の健診データ、2008 年以降の画像・心電図データはすべてサーバーに保管されており、必要な時に過去データの参照が常に可能であることが健診・検診精度の向上に寄与している。さらに急性期総合病院併設型の健診施設のため各診療科との連携が緊密であることから、要受診・要精査と判定された受診者の外来予約が容易・円滑となっている。健診から各診療科外来への紹介患者総数は 2019 年度 4,315 名(外来初診患者総数の 27.0%)、2020 年度 3,341 名(外来初診患者総数の 29.7%)であった。

また、人間ドックでは第 1 金曜日午前・第 2 土曜日午前を、一般健診では第 2 土曜日午前・第 3 金曜日午後を女性のみが受診できる女性専用フロアとして設定しており、ドック結果説明と胃透視・胃カメラ検査を除くすべての検査を女性医師・技師が担当している。

当センターの運営方針は、受診者の皆様に信頼と納得いただける健診・検診を提供することであり、そのために全職員が向上心を持ちながら受診者の皆様に寄り添う健診・検診施設であることを目指している。また、「要精密検査」の判定がなされた場合の精神的負担(特にがん検診で顕著となる)および精密検査受診の際に生じる経済的・時間的負担などの健診・検診の「不利益」を可及的に最小化するため、受診を希望される検査の選択を判断する際に必要となる情報をホームページ含め十分に提供するとともに、健診・検診における要精密検査率を許容範囲内とするために、検査を実施する技師および結果を判断・説明する医師の多くが関連学会・機構から健診・検診を実施するにおいて必要とされる資格を取得・更新しており、かかる資格取得を推奨・サポートする体制を整えている。さらに、健診・検診の質を客観的に評価して質の向上に反映させるため、外部の健診関連各種団体の精度管理調査および優良施設認定に積極的に参加している。

『最近のトピックス (2019 年度・2020 年度)』

① 脳ドックプレミアムコース

脳卒中(くも膜下出血・脳梗塞・脳出血など)の発症リスク評価、潜在している脳腫瘍の発見、物忘れ(良性加齢性健忘か?本物の認知症か?治療で治る認知症か?)の鑑別を行い、受診当日に担当する脳神経外科専門医/脳神経内科専門医が総合評価について説明を実施している。

② 心臓ドック

心臓ドックでは、冠動脈狭窄に起因する心筋虚血の有無を評価する運動負荷心電図検査、心臓弁の状態および心機能の評価する心臓超音波検査、全身の動脈硬化の状態を評価する頸動脈超音波検査、血管年齢の推定が可能な血圧脈波検査および心臓バイオマーカー血液検査を総合的に評価して、受診当日に循環器専門医が総合評価について説明を実施している。

③ 最新の胃カメラシステムと上部消化管検診

胃カメラ検査では検査時に胃がん病変を発見することだけでなく、胃がん発症の危険因子であるヘリコバクターピロリ菌感染の有無を胃炎京都分類に従い判断することが重要であるため当センターでは2018年5月より富士フイルムメディカル社の新しい内視鏡システム(FUJIFILM LASERE07000)と上部消化管用経鼻内視鏡(EG-L580NW7)を導入した。通常観察の白色光に加えて2種のレーザー光、すなわち粘膜表面の毛細血管の構造を強調するBLI(Blue Laser Imaging)および粘膜表面の赤色領域と周囲のコントラストを強調するLCI(Linked Color Imaging)の3種類の画像を組み合わせて内視鏡診断を行うことで、より高い精度の診断が可能となっている。

また、上部消化管検診として現在なお重要な役割を果たしている胃透視検査においても、胃がん発症の危険因子であるヘリコバクターピロリ菌感染・除菌歴の有無を反映させた所見および判定結果の提示を行っている。

④ 誘導支援システムの導入

2019年5月より、受診者の皆様がより快適に健診・検診を受診していただけるよう各検査での待ち時間の短縮を目的として、各検査終了時に待ち時間の少ない次の検査へご案内することを可能とする誘導支援システムを導入した。さらに、当センターは3フロアから構成されており同じ検査を実施する検査室が各フロアに分散するため、検査の待ち時間の短縮と同時にフロア間の移動をできるだけ少なくすることについても配慮されるよう設計され進化している。

⑤ 施設認定について

- ・ 人間ドック健診施設機能評価認定施設
- ・ 日本総合健診医学会優良総合健診施設
- ・ 健康評価施設査定機構認定施設
- ・ 人間ドック健診研修施設
- ・ 健保連人間ドック指定施設
- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診実施施設
- ・ 大阪市乳がん・大腸がん検診実施施設(前立腺がん：申請中)
- ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設・画像認定施設
- ・ 日本乳癌検診学会全国集計登録認証施設

『スタッフ』

健康管理センター長：根津 理一郎

健康管理センター所長：雨宮 彰

健康管理センター専従・常勤医師：池上 陽一、乾 哲也、桑迫 崇裕、前田 健次、高島 周志、辻野 晶子、岩本 有里子、大野 秀樹、大家 学、小林 哲郎(特別顧問)

健康管理センター保健師：田中 登紀子(保健師長)、他5名

『診療日程』：すべて予約制（詳細はホームページを参照ください。）

- ・ 人間ドック：月～金曜午前、月曜午後、第2・4土曜午前
- ・ 一般健診：月～金曜午前・午後、第2・4土曜午前/
- ・ 脳ドック・脳脊髄ドック：火曜・木曜午後
- ・ 心臓ドック：木曜午後

『2021年の目標』

新型コロナウイルス蔓延下の現在の状況において、これまで以上に受診される皆様に「信頼と納得」いただける健診・検診を提供できるよう万全の準備・対策を行っている。そして、健診関連8団体から出された「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」のガイドラインを徹底的に遵守しながら、総受診者数70,200人、人間ドック受診者数14,600人を達成するとともに、受診者の皆様の満足度を反映する指標と考える反復受診率を引き続き80%以上とするため、受診者の皆様に「信頼と納得」を実感していただける健診施設であり続けることを目標とする。

さらに、人気が高く予約が大変取りにくくなっておりご迷惑をおかけしている人間ドック（半日ドック）・上部消化管検査（胃カメラ）の受診枠拡大、そしてより快適な受診環境の実現についても健診フロア改装・増設を含め準備中である。

2. 診療実績

	2019年度(2019/04-2020/03)	2020年度(2020/04-2021/03)
人間ドック（半日ドック）	14,494	12,697
人間ドック（1泊ドック）	88	64
一般健診	58,755	49,669
脳ドック	11	20
心臓ドック	14	8
大阪市がん検診（乳房・大腸）	128	130
子宮がん検診（超音波併用）	15,259	11,905
脳MRI/MRA	894	739
胸部CT（低線量肺がん検診）	920	751
マンモグラフィ	7,955	6,858
上部消化管造影（胃透視）	21,386	18,153
上部消化管内視鏡（胃カメラ）	17,685	13,378
心電図検査	68,905	59,501
超音波検査	43,071	36,522
特定保健指導（初回）	341	308

3. 業績

【学会発表】

2019年度：

信國貴子ほか：人間ドック受診後の追跡調査と精密検査受診率向上への取り組み：第60回日本人間ドック学会学術大会；2019年7月25-26日；岡山県岡山市 最優秀口述演題として表彰

2020年度：

高島周志ほか：胃がん検診受診の推奨層を考察～当センターのドック受診者を年代別、ヘリコバクターピロリ菌感染別に検討～：第61回日本人間ドック学会学術大会；2020年11月26-12月26日；Web開催

医事課

1. 概要

『部署の方針と特徴』

患者様が安心して当院をご利用いただけるよう、接遇の向上・信頼される対応を心掛けます。
自己研鑽に努め、組織へ貢献できるよう常に意識を持って業務を行います。

『スタッフ』

医事課長 1名 ・ 医事課主任 2名 ・

医事課職員 24名（入院・外来・1～4階受付・医師事務作業補助者）

『2021年の目標』

2022年度診療報酬改定の準備（情報収集と関連部署への情報提供）

減点改善策実施

時間外勤務時間の削減

2. 各科別患者数

単位：人

		2020年度													合計
		内科	消化器内科	循環器内科	内科3科計	外科	整形外科	皮膚・ 形成外科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科		
4月	入院	54	112	401	567	717	635	25	165	290	66	4		2,469	
	外来	913	705	1,760	3,378	1,018	468	344	712	422	585	176	1	7,104	
	合計	967	817	2,161	3,945	1,735	1,103	369	877	712	651	180	1	9,573	
5月	入院	65	109	334	508	490	480	8	123	232	65	4		1,910	
	外来	782	436	1,555	2,773	955	420	327	755	399	537	134	0	6,300	
	合計	847	545	1,889	3,281	1,445	900	335	878	631	602	138	0	8,210	
6月	入院	80	47	496	623	561	499	14	150	249	114	4		2,214	
	外来	976	573	1,911	3,460	1,202	643	428	935	449	732	223	11	8,083	
	合計	1,056	620	2,407	4,083	1,763	1,142	442	1,085	698	846	227	11	10,297	
7月	入院	132	80	508	720	620	497	28	152	252	100	5		2,374	
	外来	935	609	1,785	3,329	1,314	670	446	884	436	650	181	5	7,915	
	合計	1,067	689	2,293	4,049	1,934	1,167	474	1,036	688	750	186	5	10,289	
8月	入院	58	78	373	509	714	346	18	117	266	77	8		2,055	
	外来	918	586	1,676	3,180	1,101	542	424	873	454	610	196	0	7,380	
	合計	976	664	2,049	3,689	1,815	888	442	990	720	687	204	0	9,435	
9月	入院	73	109	392	574	604	431	32	149	187	78	8		2,063	
	外来	963	711	1,754	3,428	1,184	640	430	910	477	722	217	5	8,013	
	合計	1,036	820	2,146	4,002	1,788	1,071	462	1,059	664	800	225	5	10,076	
10月	入院	74	132	472	678	690	487	39	181	233	112	4		2,424	
	外来	1,103	725	1,971	3,799	1,318	590	424	965	551	674	243	2	8,566	
	合計	1,177	857	2,443	4,477	2,008	1,077	463	1,146	784	786	247	2	10,990	
11月	入院	75	79	441	595	619	438	66	152	182	79	0		2,131	
	外来	962	640	1,730	3,332	1,252	560	396	856	471	619	164	3	7,653	
	合計	1,037	719	2,171	3,927	1,871	998	462	1,008	653	698	164	3	9,784	
12月	入院	60	60	574	694	661	572	79	136	204	69	4		2,419	
	外来	1,087	658	1,959	3,704	1,252	570	360	877	488	686	188	0	8,125	
	合計	1,147	718	2,533	4,398	1,913	1,142	439	1,013	692	755	192	0	10,544	
1月	入院	73	87	403	563	608	491	39	123	190	84	18		2,116	
	外来	1,010	686	1,952	3,648	1,267	567	323	853	475	640	202	4	7,979	
	合計	1,083	773	2,355	4,211	1,875	1,058	362	976	665	724	220	4	10,095	
2月	入院	142	81	429	652	613	360	26	115	189	78	0		2,033	
	外来	914	630	1,463	3,007	1,122	521	291	771	392	510	197	3	6,814	
	合計	1,056	711	1,892	3,659	1,735	881	317	886	581	588	197	3	8,847	
3月	入院	76	107	514	697	641	431	38	115	240	69	8		2,239	
	外来	1,237	762	2,089	4,088	1,460	704	406	1,008	604	794	247	23	9,334	
	合計	1,313	869	2,603	4,785	2,101	1,135	444	1,123	844	863	255	23	11,573	
合計	入院	962	1,081	5,337	7,380	7,538	5,667	412	1,678	2,714	991	67		26,447	
	外来	11,800	7,721	21,605	41,126	14,445	6,895	4,599	10,399	5,618	7,759	2,368	57	93,266	
	合計	12,762	8,802	26,942	48,506	21,983	12,562	5,011	12,077	8,332	8,750	2,435	57	119,713	
構成比	入院	3.6%	4.1%	20.2%	27.9%	28.5%	21.4%	1.6%	6.3%	10.3%	3.7%	0.3%		100.0%	
	外来	12.7%	8.3%	23.2%	44.1%	15.5%	7.4%	4.9%	11.1%	6.0%	8.3%	2.5%	0.1%	100.0%	
	合計	10.7%	7.4%	22.5%	40.5%	18.4%	10.5%	4.2%	10.1%	7.0%	7.3%	2.0%	0.0%	100.0%	

3. 各科別平均在院日数

単位：日

2020年度	内科	消化器内科	循環器内科	内科3科計	外科	整形外科	皮膚・形成外科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
4月	10.0	1.7	3.6	3.2	4.8	23.2	2.3	4.8	7.4	2.1	3.0	5.5
5月	11.8	2.2	3.7	3.6	4.3	21.8	1.7	5.6	7.3	3.2	3.0	5.6
6月	11.7	1.5	4.1	4.1	4.2	22.3	2.2	5.8	6.8	4.1	3.0	5.6
7月	16.4	1.6	3.7	3.9	3.8	21.5	3.4	5.9	7.0	3.5	4.0	5.2
8月	10.6	1.5	3.2	3.0	4.3	19.4	2.4	5.2	7.0	2.3	3.0	4.7
9月	13.8	2.3	3.0	3.2	3.9	18.7	2.4	6.3	6.4	4.6	3.0	4.9
10月	11.5	2.5	3.2	3.4	3.6	23.8	2.8	5.8	7.1	4.5	3.0	4.9
11月	29.2	1.4	3.6	3.6	3.8	18.1	6.4	5.6	5.8	3.1	0.0	4.9
12月	9.8	1.6	3.8	3.7	3.8	26.8	9.3	6.9	6.2	3.5	3.0	5.4
1月	15.3	1.8	3.5	3.5	4.3	22.5	6.2	6.5	6.1	4.2	3.5	5.4
2月	20.9	2.2	3.7	4.3	4.4	15.6	2.9	4.1	6.2	4.0	0.0	5.2
3月	15.8	2.2	4.0	3.9	3.3	17.0	2.7	3.2	5.7	2.3	3.0	4.4
合計	14.2	1.9	3.6	3.6	4.0	20.8	3.8	5.4	6.6	3.4	3.2	5.1

4. 各科別診療収入

単位：点

入院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	前年度計	前年対比
内科	194,068	203,092	277,410	441,685	204,102	236,425	274,840	243,350	225,180	262,073	470,028	276,253	3,308,506	1.6%	4,123,963	80.2%
消化器内科	683,080	793,860	306,811	637,856	537,597	710,700	680,013	470,016	349,272	529,071	466,305	612,791	6,777,372	3.2%	10,120,840	67.0%
循環器内科	5,258,685	3,994,478	5,476,972	6,448,000	4,642,092	5,536,428	6,575,595	5,509,831	6,614,327	5,695,891	5,340,750	6,033,916	67,126,965	32.1%	72,962,462	92.0%
内科3科計	6,135,833	4,991,430	6,061,193	7,527,541	5,383,791	6,483,553	7,530,448	6,223,197	7,188,779	6,487,035	6,277,083	6,922,960	77,212,843	36.9%	87,207,265	88.5%
外科	3,623,660	2,975,870	3,028,257	3,541,155	3,770,311	3,328,875	3,678,991	3,451,289	3,770,883	3,758,882	3,446,293	4,025,205	42,399,471	20.3%	44,913,748	94.4%
整形外科	3,466,346	2,613,323	3,274,340	2,980,051	2,102,336	3,125,246	3,300,283	3,238,649	3,195,527	3,142,852	2,280,874	3,379,186	36,099,013	17.3%	36,873,711	97.9%
皮膚・形成外科	162,268	55,246	99,161	144,659	105,278	197,677	202,503	318,212	352,035	230,199	160,643	237,588	2,265,469	1.1%	3,470,531	65.3%
泌尿器科	1,315,079	879,661	783,848	836,307	764,463	1,094,480	1,166,759	1,020,137	928,136	1,102,942	838,753	1,081,288	11,811,853	5.6%	17,581,924	67.2%
婦人科	2,905,522	2,397,433	2,461,276	2,706,912	2,523,760	1,984,301	2,330,652	2,090,992	2,204,872	2,326,813	2,319,886	2,754,973	29,007,392	13.9%	47,376,587	61.2%
眼科	704,222	589,505	912,869	989,072	642,419	755,893	785,373	765,880	589,475	848,882	681,215	799,962	9,064,767	4.3%	12,385,301	73.2%
耳鼻咽喉科	47,991	48,080	87,765	93,325	153,020	175,532	88,083	0	152,401	177,891	0	178,443	1,202,531	0.6%	1,569,596	76.6%
合計	18,360,921	14,550,348	16,708,709	18,819,022	15,445,378	17,145,557	19,083,092	17,108,356	18,382,108	18,075,496	16,004,747	19,379,605	209,063,339	100.0%	251,378,663	83.2%
外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	前年度計	前年対比
内科	1,118,605	911,297	1,290,177	1,197,386	1,167,357	1,193,001	1,424,159	1,215,066	1,338,567	1,290,171	1,112,896	1,504,926	14,763,608	14.0%	16,711,649	88.3%
消化器内科	903,605	606,729	819,174	987,248	734,802	1,077,674	1,026,398	1,229,620	999,685	974,127	934,463	924,536	11,218,061	10.6%	14,665,704	76.5%
循環器内科	2,298,889	2,206,037	2,991,898	2,779,615	2,599,865	2,716,112	3,160,547	2,699,061	2,987,789	3,062,447	2,230,355	3,271,261	33,003,876	31.3%	35,825,375	92.1%
内科3科計	4,321,099	3,724,063	5,101,249	4,964,249	4,502,024	4,986,787	5,611,104	5,143,747	5,326,041	5,326,745	4,277,714	5,700,723	58,985,545	55.9%	67,202,728	87.8%
外科	954,652	996,587	1,299,104	1,391,422	1,069,700	1,085,995	1,290,052	1,352,487	1,195,723	1,243,965	1,154,785	1,399,671	14,434,143	13.7%	15,235,009	94.7%
整形外科	391,459	396,084	626,681	643,135	528,411	567,033	544,029	540,751	584,589	555,501	501,724	770,902	6,650,299	6.3%	6,757,761	98.4%
皮膚・形成外科	161,019	139,451	178,837	255,574	220,192	200,538	220,396	198,036	174,995	179,519	180,835	236,545	2,345,937	2.2%	3,426,406	68.5%
泌尿器科	651,641	663,940	782,805	825,964	869,607	838,803	835,427	793,906	781,586	760,028	697,669	956,894	9,458,270	9.0%	10,787,855	87.7%
婦人科	286,307	251,232	334,807	327,264	338,090	389,041	415,458	363,506	380,646	364,092	311,846	452,271	4,214,560	4.0%	6,049,715	69.7%
眼科	604,132	453,790	667,981	660,876	629,220	636,351	634,235	650,477	694,391	623,290	618,606	816,490	7,689,839	7.3%	8,731,880	88.1%
耳鼻咽喉科	86,529	76,420	148,541	113,753	125,417	168,533	160,281	105,984	133,400	156,038	133,418	178,701	1,587,015	1.5%	2,336,523	67.9%
放射線科	940	0	10,340	4,700	0	4,700	1,880	2,820	0	3,760	5,846	44,873	79,859	0.1%	80,577	99.1%
合計	7,457,778	6,701,567	9,150,345	9,186,937	8,282,661	8,877,781	9,712,862	9,151,714	9,271,371	9,212,938	7,882,443	10,557,070	105,445,467	100.0%	120,608,454	87.4%
総合計	25,818,699	21,251,915	25,859,054	28,005,959	23,728,039	26,023,338	28,795,954	26,260,070	27,653,479	27,288,434	23,887,190	29,936,675	314,508,806		371,987,117	84.5%

病院年報 第 1 号
令和 3 年 8 月発行

発行 医療法人伯鳳会 大阪中央病院

編集 病院年報委員会

〒 530-0001 大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 30 号

TEL 06-4795-5505

FAX 06-4795-5544

URL <http://www.osaka-centralhp.jp/>

